

# 第3回芸西村教育施設集約化 事業説明会



【配布用】

令和7年12月21日

芸西村教育委員会

復建調査設計(株)

# 本日のプログラム（流れ）



## 1. はじめに

- これまでの取組の概況
- 集約化のビジョンについて

## 2. 委員会・ワーキング部会等の検討報告

- 今年度の検討の経緯や結果について

## 3. 基本計画配置案の見直し結果（最終案）

- 最終配置案の見直しの方針
- 見直し結果の基本計画配置案について
- 12/11成果報告会の質疑応答（議会・第8回委員会・WS参加者）

## 4. 今後の予定、その他

# 1. はじめに

これまで経緯と本年度の取組み概要について  
～事務局より説明します～



第2回事業説明会



第2回ワーキング



第3回ワーキング

# 1. はじめに



教育施設集約化のビジョンについて 事務局より説明

## 1. 子どもたちにとって、安心・安全・快適な施設整備

→老朽化による施設の更新・・集約化＋安心＋安全＋快適

## 2. 保・幼・小・中の連携を強めた“9年間一貫”

“保幼小中融合”型の教育モデルの実現」

→教育・保育のシームレス＋地域への愛着の熟成

## 3. 地域資源・特色を活かせる場づくり

→地域の恵みや特色からの学びの場づくり

## 4. 地域の中心として教育施設が機能する“場”の維持

→地域コミュニティの核となる場づくり

## 5. 未来にわたって持続可能な教育環境の構築

→適切な規模と教育の質を保つ整備・運営



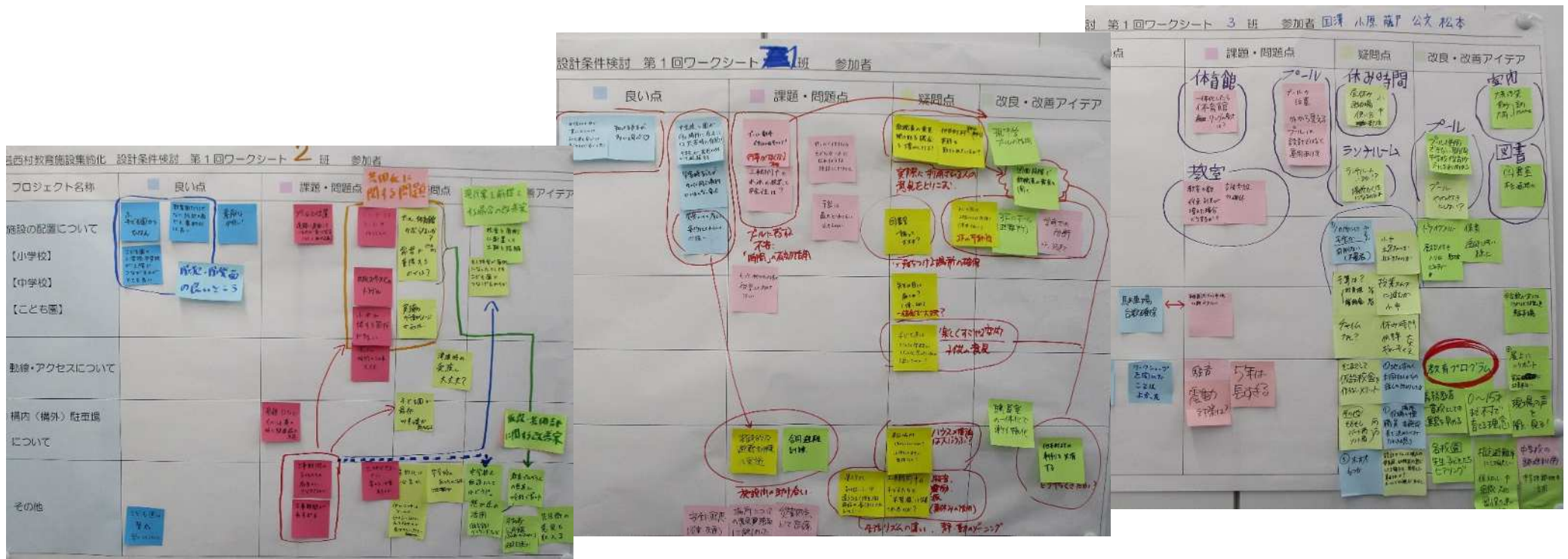
# 1. はじめに ～配置計画への基本的な考え方

- 事業説明会等におけるご意見等を踏まえて、**施工期間の短縮化、工事期間中のプール・体育館の使用、工事の騒音対策、小中プール共用における床高安全対策**などを講じた計画とします。
- 以上は**園舎・校舎を校庭南側に配置**すれば可能となることから、南側配置を基本として、複数の配置案を検討し、これまでワーキング部会において積極的な意見を重ねて参りました。
- 庁内でも実効性や安全の検討を加え、最終的に**共同調理場は移設**せず、現状のまま使用し、比較案から**こども園は敷地西側**（河川から遠い配置案）をベースとし、最終案を検討するに至りました。
- さらにこの案については、**体育館とプールの位置取り**、共同調理場から校舎への**給食運搬ルート（渡り廊下）の配置**など、まだ皆さまのご意見を交換して決定すべき内容もあり、比較検討を繰り返しました。
- それを基に、委員会とワーキング部会で意見を重ねて**最終案**としました。

## 2. 委員会・ワーキング部会等の検討報告

日程	◆検討委員会	■ワーキング部会（WS）	●住民説明会
令和6年 ～ 7年3月	◆第1～4基本計画検討委員会 ・配置・規模・事業計画等検討 <b>済</b>		●第1回住民説明会 R7.3.2 <b>済</b>
令和7年 5月	◆第5回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果の報告 ・今年度の進め方 <b>済</b>	■第1回住民WS（5月29日） ・これまで計画～設計条件 ・住民説明会の意見と対応方針 ・基本計画の点検・評価 <b>済</b>	
7月下旬 ～ 9月上旬	◆第6回基本計画検討委員 ・第1回WS結果と対応方針 ・今年度の進め方 <b>済</b>	■第2回住民WS（8月1日） ・変更案の提示と意見交換 ・比較案検討、優先順位付け <b>済</b>	●第2回住民説明会 R7.9.28 <b>済</b>
10月下旬 ～ 12月	◆第7回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果報告確認 ・今年度の進め方 <b>済</b>	■第3回住民WS（10月29日） ・最終案絞り込み～利用計画等の意見交換 ・課題抽出～基本設計条件の提示 <b>済</b>	●第3回住民説明会 12/21★本日★
1月 ～ 令和8年3月	基本設計条件のとりまとめ ～ 基本設計業者の選定準備作業		

# 第5回委員会＋第1回ワーキング部会 5/29





# R6年度の基本計画案について



令和7年3月  
高知県安芸郡芸西村



## 【事業の背景】

- 社会的に児童生徒数が減少し、芸西村でも昭和55年と比較すると62%減となっている。令和13年には昭和55年と比較し、約77%減と推計されている。
- 高度成長期に建設された学校が多く、建設後40～50年が経過し、建て替えを検討している市町村は多く、複数ある学校を統合する市町村の動きもある。
- 芸西村では、村内には保育所・幼稚園・小中学校が各1施設のみであるが、それぞれの施設の老朽化が進行し、生徒数減少により小中学校の空室が発生しており、この4つの教育保育施設を一つの敷地に集約し、利便性の向上や施設管理の効率化を推進したいと考える。
- 現在の幼稚園・小学校の敷地は、津波浸水エリア（L2）の範囲外にあり、また前面道路は2車線の幹線道路になっており、村民の目が届きやすく防犯上好ましく、近隣に役場、図書館や駐在所等の公共施設が立地しており、好立地条件となっていることから、この敷地を中心に検討を進めるものとする。
- 令和5年度には、現在の幼稚園・小学校の敷地のみに集客化を行う「A案」と、南西隣の民地（農地）までを敷地として利用し、集約化を行う「B案」との2案を比較検討して、「B案」を基に、今年度基本計画検討を行った。



## 【生徒数の変化に応じた将来対応】

- ・小学校・中学校については、「小中学校の学級の算定」の項に示したように、「**公立学校施設費国庫負担金に関する関係法令等の運用細目による算定**」を基準としている。

→ 小学校6クラス（ $+\alpha$ ）、中学校3クラスを基本

- ・幼稚園・保育所を統合する認定こども園の人数等の設定条件は、「**認定こども園の必要諸室算定**」の検討と協議結果から、**145人**の定員とする。

→ **6園室**（ $+\alpha$ ）

※「将来人口の推計値」にあるように、国の（何も手立てをしない場合の）推計値では、村の人口・生徒数が急激に減少するため、「**新校が維持存続できる人口施策が展開されることを前提に学級と規模を設定**」した。

# 【集約化の事業方針】

## ■事業理念

「児童生徒の成長に合わせて、  
連携の取れた密度の濃い教育施設の創造」

保幼小中一貫教育により、保育所・幼稚園での保育成果を効果的に小学校低学年時教育、高学年教育から前期中等教育へ引き継ぐ。

無駄を省き一貫性を持たせた体系的な教育を展開する。

## ■新しい時代の学びを実現する学校の姿（ビジョン）

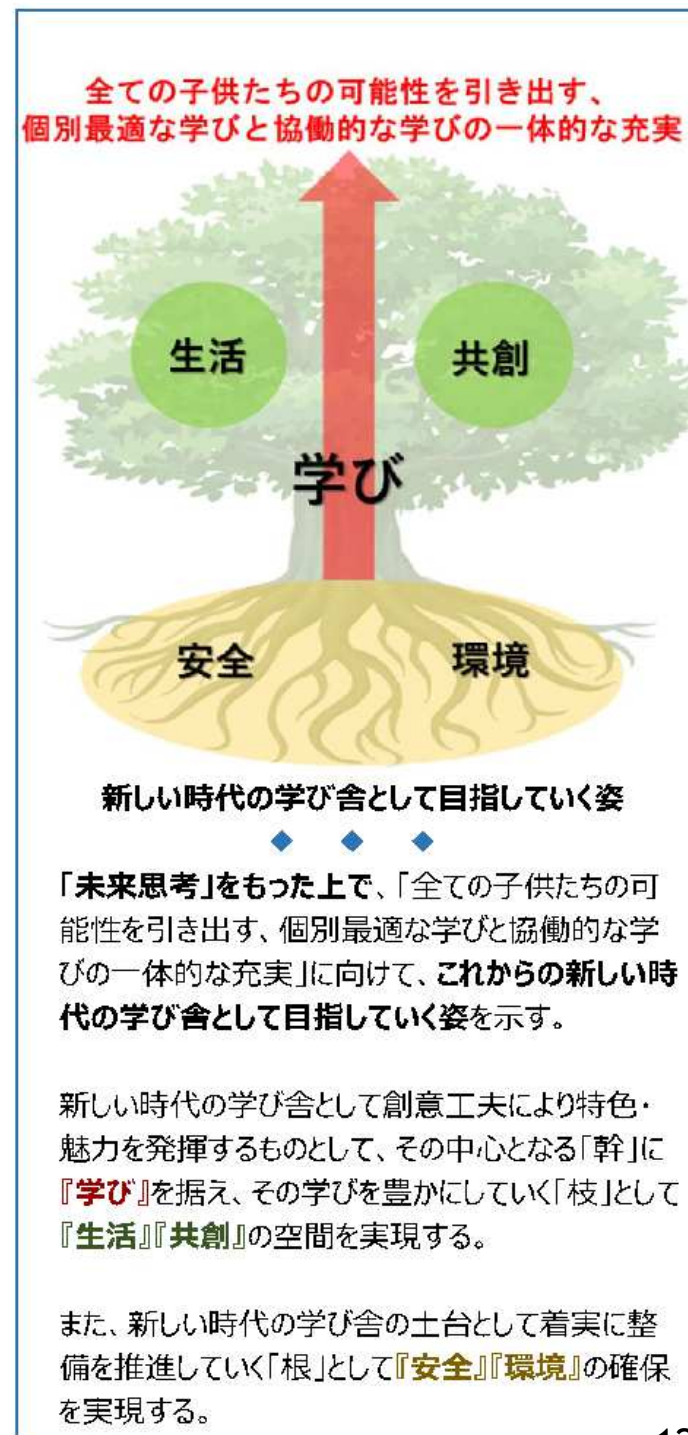
「地域とともに輝く学校づくり」  
「自ら進んで学べる・取り組める子どもの育成」

# 【方向性】

(文部科学省の記載内容引用転載)

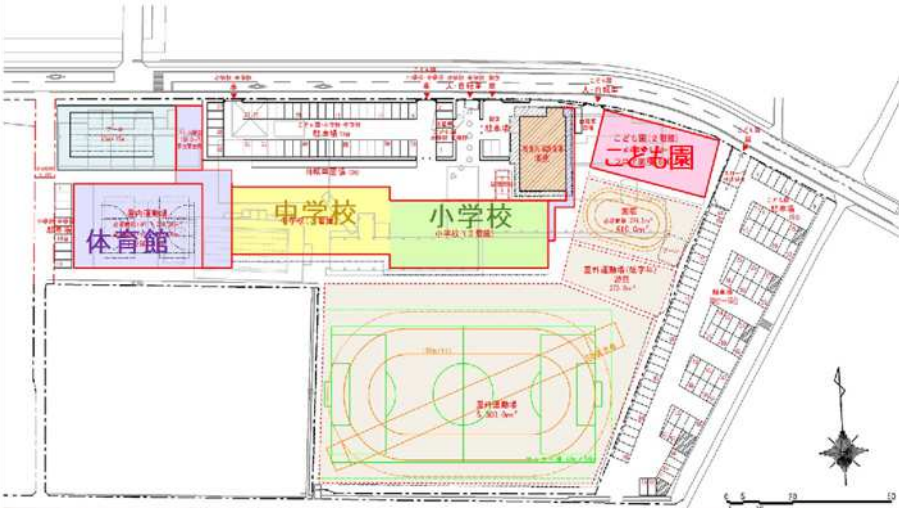
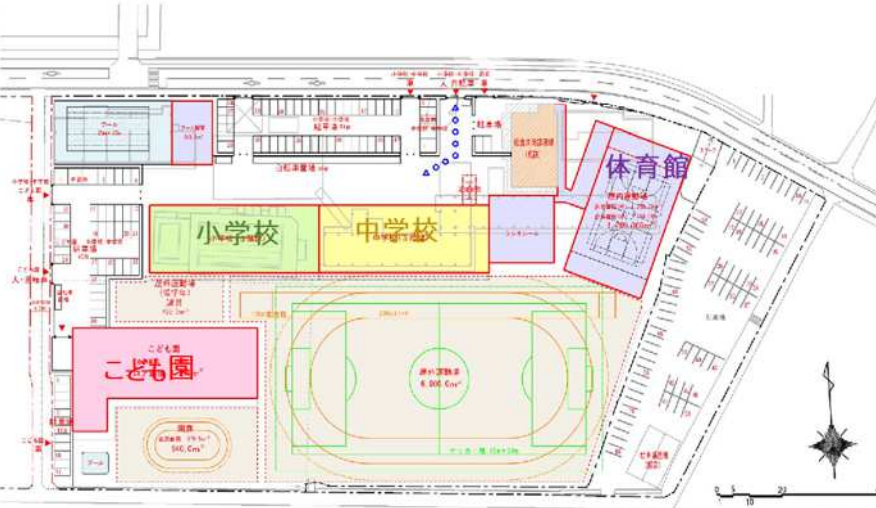
## 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方 (5つの姿の方向性)

1. 学び：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
2. 生活：新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
3. 共創：地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現  
➡コミュニティスクールの推進
4. 安全：子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
5. 環境：脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現



# 【 R5. 基本構想案】

【凡例】 ◎：とても良い ○：良い、△：良くない、▲：悪い

建設敷地（敷地面積）	小学校・幼稚園の現有敷地に合築するケース（16,781㎡）		現有敷地に民間農地を含めて合築するケース（21,915㎡）	
建替えスキーム	A案 校庭に仮設校舎を建設し、こども園は現食堂跡に新築、現小学校を解体して新校舎等を建設する		B案 体育館・プール跡に小学校新校舎、小学校跡に中学新校舎・体育館を建設、こども園は拡張敷地に建設する	
配置図（縮小版）				
建築計画の延面積	8,500㎡		9,200㎡	
階数	中学3階、小学3階、こども園2階		中学3階、小学3階、こども園1階	
仮設校舎・園舎の有無	▲	A1：仮設校舎が必要（仮設園舎は不要）	◎	B1：仮設校舎・仮設園舎ともに不要
施設配置・構成のバランス	△	○東から、こども園→小学→中学→体育館 △こども園2階建 △囲まれた中庭に駐車場と校門確保	○	○こども園は南西、道路側に小学→中学→体育館 ◎こども園平屋 △前面道路側に中庭に駐車場と校門確保 △こども園は前面道路から奥手
屋外運動場の確保	△	△150mトラック+直走路80m △サッカーコート40m×80m △小中の共同利用では小さい	◎	○200mトラック+直走路100m ○サッカーコート45m×90m以上 ◎各校舎園舎ごとに園庭が十分に確保される
登校・登園・車両の動線	△	○登校は中央部、登園は東部から、いずれも前面道路から直接 △こども園と駐車場は村営駐車場に確保（駐車桟割り直しが必要）	◎	○通学路の中央部から出入り ◎正門付近は歩行者専用、西側に駐車場を集約して歩車分離
駐車台数の確保	○	○78台（現有台数は確保）←村営駐車場の割付直し整備後	◎	◎99台確保（現有台数以上に確保）
ランチルームの確保	△	△不可	○	○可能



# 【R6. 基本計画案】

第一期工事

## 第一期工事終了時

B2案(一期工事)  
駐車台数 合計 70台  
(仮設を含む)

※現在の小学校校舎を避けて建設



配置図・1階平面図(一期工事終了時) 1/600



# 【 R6. 基本計画案】

第一期工事

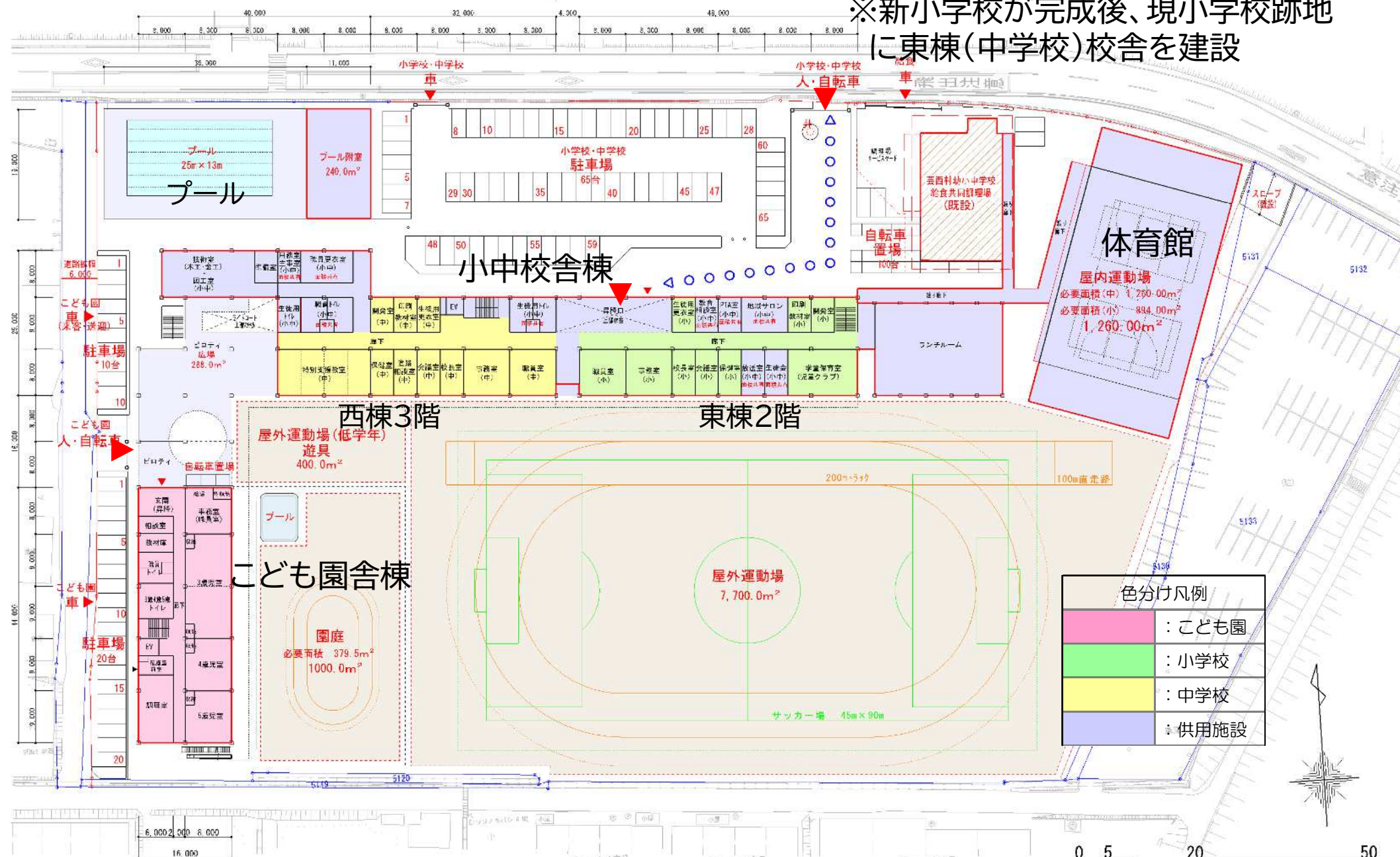
第二期工事

完成時

B 2 案(二期工事)

駐車台数 合計 95台

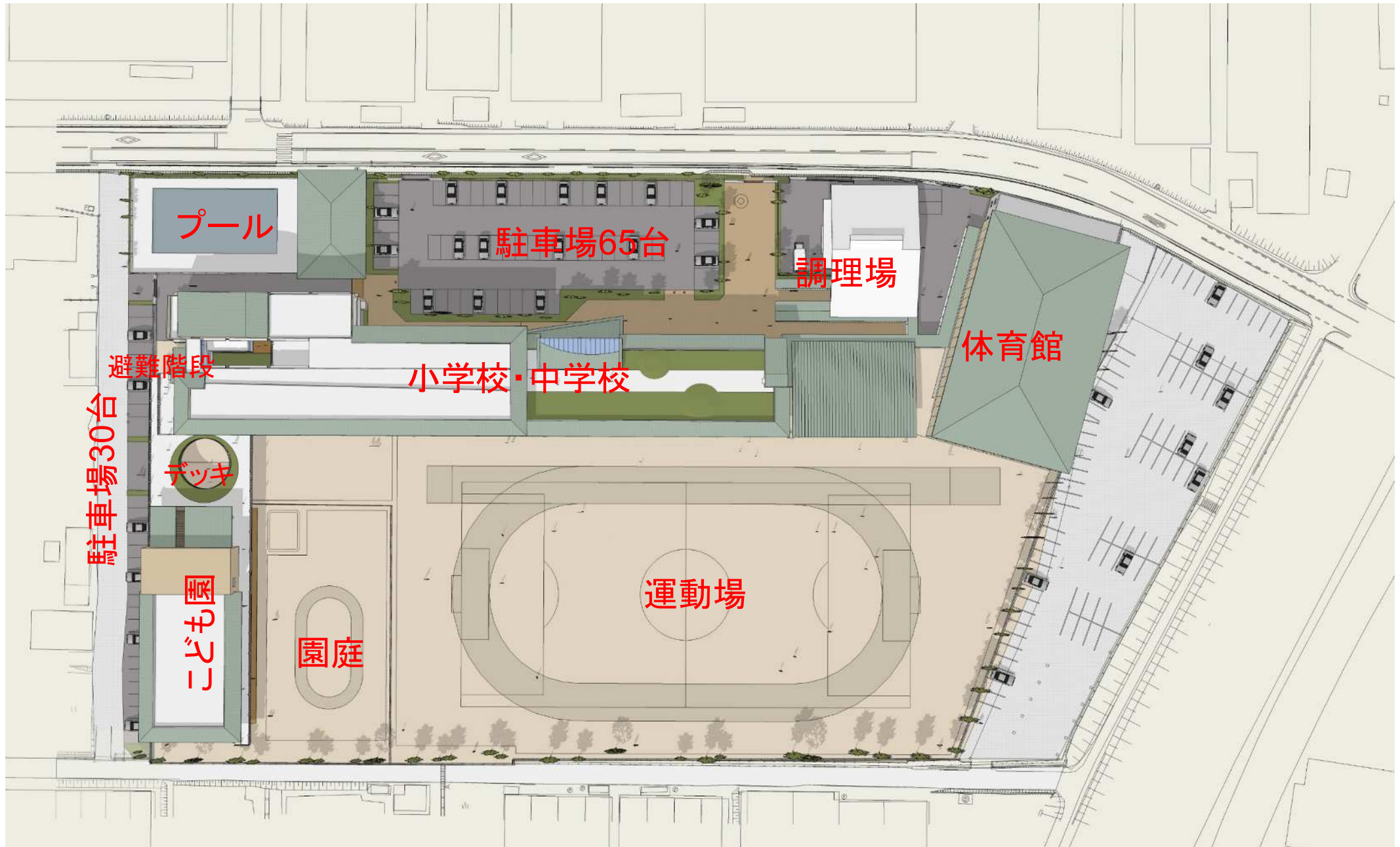
※新小学校が完成後、現小学校跡地に東棟(中学校)校舎を建設



1 階平面図 1/600

配置図・1 階平面図(二期工事終了時) 1/600

## 【 R6. 完成予想全体 C G 】



□上空真上から

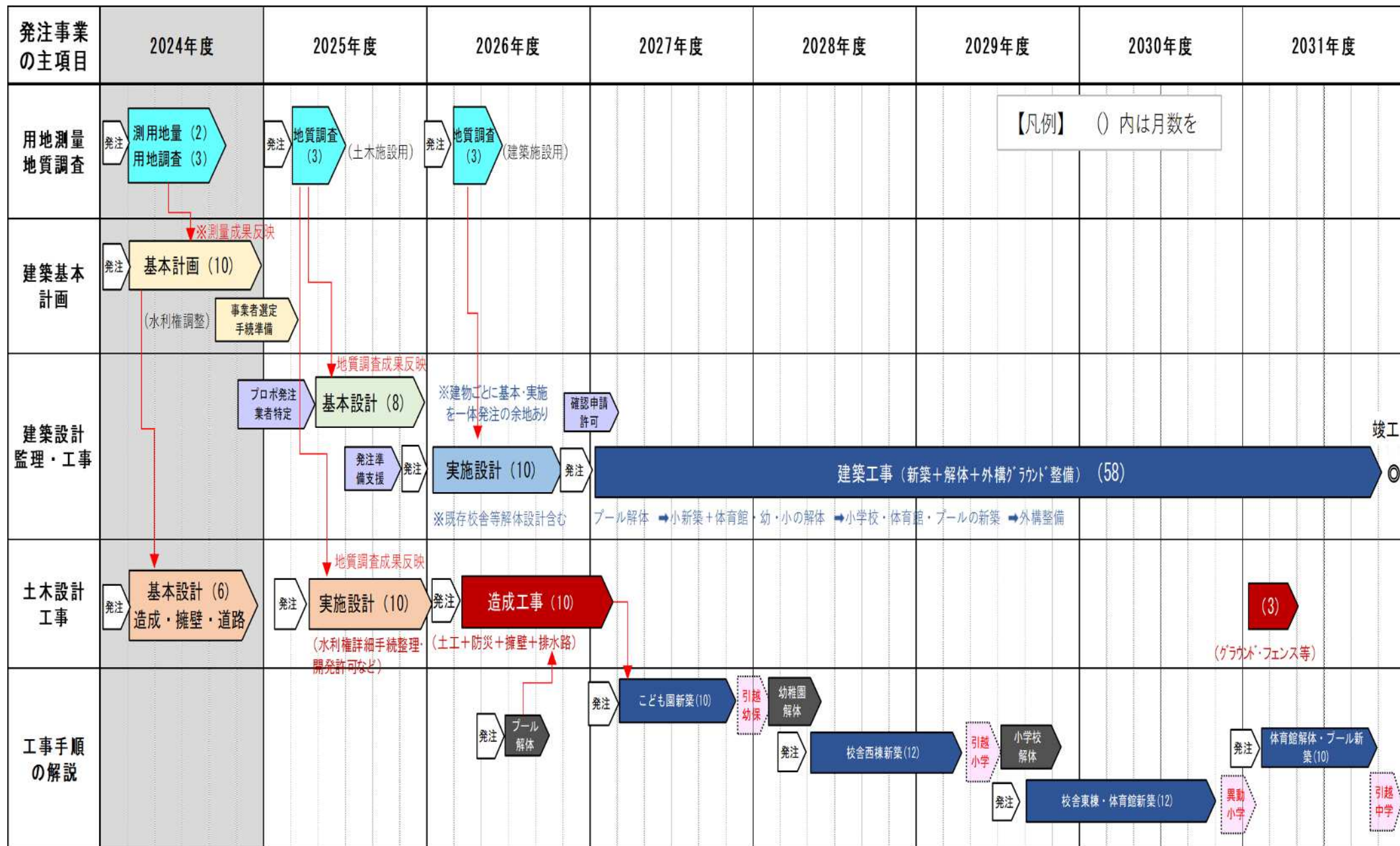


## 【 R6. 完成予想全体 C G 】



□南東上空から

# 【 R6. ロードマップ（全体事業工程） 令和6年度末時点のもの





# 第1回ワーキング部会の結果報告

## ■第1回目を開催しました

- 日時:2025 年5月 29 日(木) 19:00-21:00
- 場所:芸西村生涯学習館 2階学習室
- 参加人数:21 名



2025 年3月2日に実施した「第1回住民説明会」では、参加者が少なく、住民意見も数名に限られました。今回のワーキングでは、令和 6 年度までに策定された基本計画について、芸西村(教育委員会)の考え方や進めて来た経緯を含めて、おさらいし、今年度の取り組み(設計条件検討)の進め方を説明しました。

◆協賛先		■協賛先(仮)	●協賛先
第1回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第2回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第3回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第4回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第5回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第6回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第7回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第8回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第9回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館
第10回	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館	芸西村生涯学習館

## ■グループワークの様子



参加者は4班に分かれ、基本計画案に対して思う「良い点」「課題・問題点」「疑問点」を付箋に書き出しました。



意見を書いた付箋を大判の模造紙に張りながら、一人ひとりの考えをお話いただき、班内で考えを共有しました。



班で出た課題や疑問点に対する「改良・改善アイデア」について幅広く、議論をしました。



最後に、それぞれの班で出た主な意見を取りまとめ、各班から全員に向けて発表して、ワーキングの成果を共有しました。

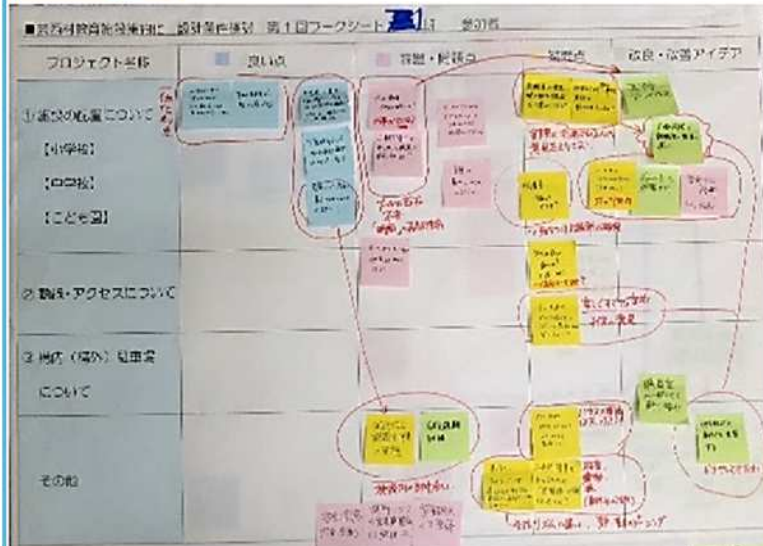


今回のワークショップでは、住民説明会と同様



# 第1回ワーキング部会の結果報告

## 1 班



### 良い点

- 保幼小中の一貫教育で、子どもたちが安心して過ごせる。
- 災害時に幼保・小中の子供が同じ場所にいることで、安心感が得られる。

### 疑問点

- 実際に利用する教職員や子供の意見を聞き取る機会はあるか。
- 津波対策(避難場所の確保)のため、こども園を3階建てにできないか。

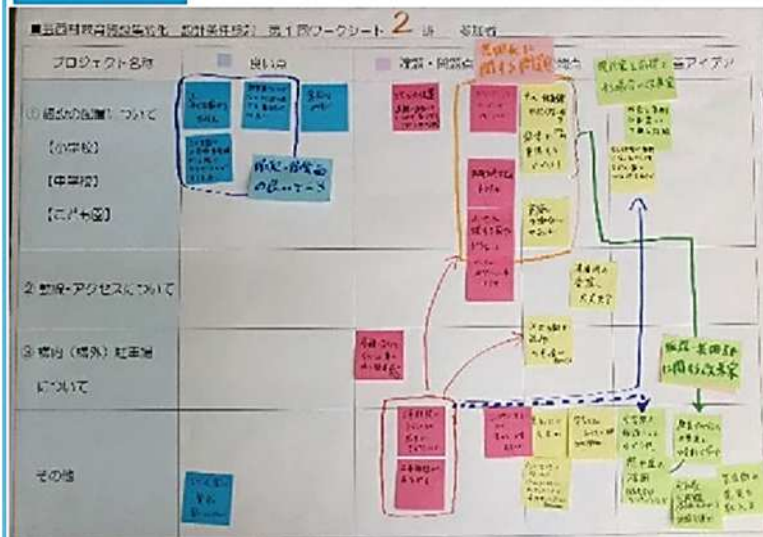
### 課題・問題点

- 工事期間中のプールの利用が困難になる点が課題である。
- 予算内で理想的な施設が実現できるかどうか心配である。

### 改良・改善アイデア

- 工事期間中は、現中学校のプールを活用してはどうか。
- 図面作成の段階で、教職員の意見を取り入れる。

## 2 班



### 良い点

- 子ども園から避難しやすい設計になっているのが良い
- 教育面だけでなく、防犯面でも集約化は有効である。

### 疑問点

- プールや体育館の利用が重複しないか
- 小中の行動範囲が干渉しないか。
- 津波発生時の避難や受け渡しは安全に行えるのか。

### 課題・問題点

- プールが道路に面しており気になる。
- 共用することでのトラブルが懸念。
- 参観日などのイベント時に駐車場が不足する可能性がある。

### 改良・改善アイデア

- 校舎を南側に配置して、工期を短縮することを検討する。
- 中学校を仮設校舎にする事等、他施設の活用と合わせて検討してはどうか



# 第1回ワーキング部会の結果報告

### 3 班

[illegible]

良い点

- 各年代の交流できる機会が増えるのが良い。
- ワークショップを開いたことは非常に有意義だった。

## 課題・問題点

- プールの位置、工事中の騒音・振動対策、中学校の跡地利用など。
- 将来的に教室数が不足する可能性はないだろうか。

## 疑問点

- 小中学生の時間割のずれはどうか
- 集約化することによって不審者等の危険性はどうか。
- 施設利用者への聞き取りは十分か。

## 改良・改善アイデア

- 大気汚染に備えて、室内プレイルームを設置。プールを屋根付きでどうか。
- 教育プログラムとともに施設を考えてはどうか。関係者へのヒアもしっかり。

## 4 班

[illegible]

良い点

- 先生同士の連携、園児・児童・生徒間の交流が取りやすくなる点が良い。
- 乳幼児・学童(兄弟等)の送迎が合理的となる。

## 課題・問題点

- 小学生が長期間騒音に悩まされるのは問題である。
- こども園の2階からの転落の危険性も考慮する必要がある。

## 疑問点

- プールが授業で使えない期間が発生してしまうのか。  
○災害時の具体的な避難経路はどのように想定されているのか。

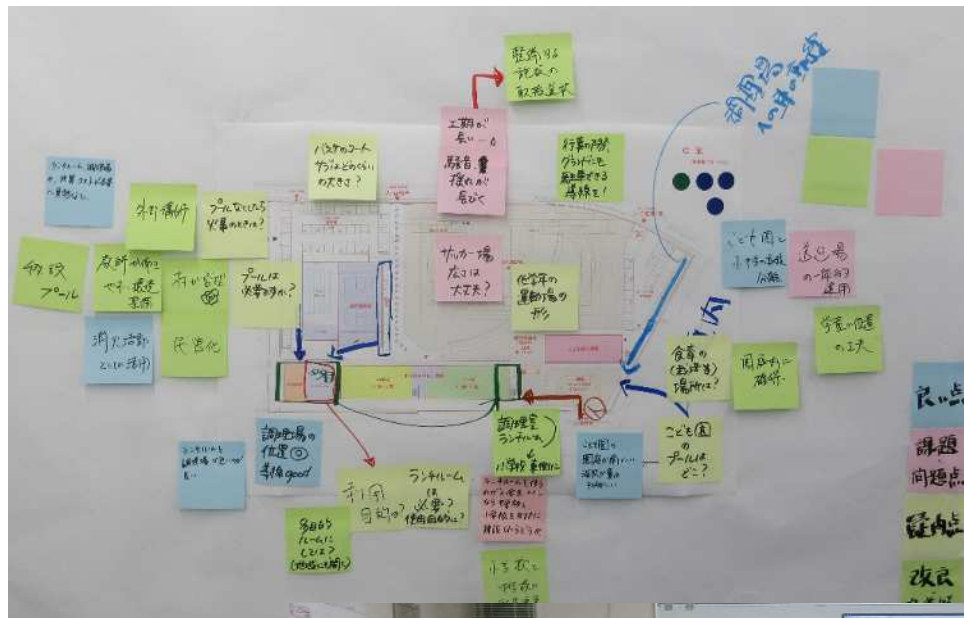
## 改良・改善アイデア

- プールを地下(体育館)に設置することを検討してほしい。
- 運動場の水はけを考慮して、ゴム素材を使用するのが良い。

などなど…この他にも多数のご意見をいただきました<sup>21</sup>



# 第6回委員会＋第2回ワーキング部会 8/1



## 基本計画案の見直しについて

### 1) 敷地選定について

◇この場所以外に適地はないか、他候補地との比較検討をしたのか？

→過去の実施済み。当地を敷地として計画、事業化する。

### 2) 保幼小中の統合集約化について

◇こども園は別な場所でも良いのでは？ 中学校跡地など別敷地にできないか？

→ここに4施設を集約する。保幼の中学校跡地への移設は困難。

### 3) 災害リスク対策はどうか

◇大津波が来た場合に大丈夫か？ 浸水時に迎えに行けるのか？

特に乳幼児の避難や迎えが心配であるがどうか？

→宅地高さの確保、屋上階への避難階段の確保により、安全性を保っていく。  
可能な範囲で宅地やフロア高の嵩上げ等も検討し、リスクを増加させない。

### 4) 工事中の学習環境の確保＝騒音・振動対策など

◇現計画（北側校舎）案では近接による環境悪化や長期間工事は耐え難い。

→「南側に校舎配置案」等を検討する。今後、素案を提示し意見交換予定。

## 基本計画案の見直しについて

### 5) 工事中のプール施設利用について

◇工事期間が長く、プールが使えない期間は長過ぎて困る！

→「南側に校舎配置する案」ほか、使えない期間を短くする。

◇小中共用型では、先の高知市内の事故もあり、安全対策をどう考えるのか？

→小中の日時や時限を離すなど、置き型タイプの上げ床も検討する。

### 6) 構内駐車場について

◇現在4施設で使用されている台数（100台）に加え、送迎待ちや学校行事時の予備台数の確保が可能か？

→東隣り村駐車場敷地（約2,700㎡）を含めて敷地を拡大し対応する。

→村駐車場は保育所跡地と青果市場の東の駐車場を利用する。→次頁参照！

### 7) 共用施設の利用について

◇体育館やプール、グラウンドなど、集約化により共用施設が発生するが、運用上の問題はないか？

→施設複合化、また義務教育一貫校となった場合でも、園児・児童生徒の数・クラス数から見ると、十分に教育運用できる規模と考える。

→今回敷地面積を更に拡張（前項）するので各園庭校庭の区分も可能となる



## 基本計画案の見直しについて

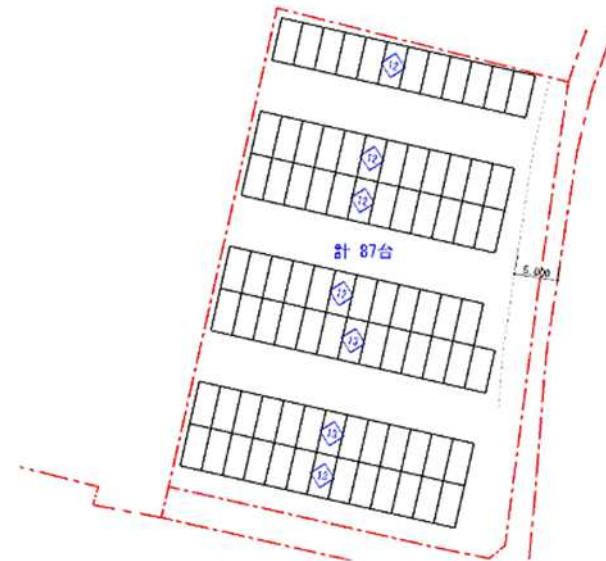


集約化により、現在の小学校・幼稚園敷地以外から、移動となる関係者駐車台数を示す





# 基本計画案の見直しについて



保育所跡地の  
駐車場計画案

⇒87台

※合計確保台数  
➡123台



青果場東部の  
駐車場計画案

⇒36台



# 基本計画案の見直しについて



旧北芝村営住宅跡地

工事期間中の学校関係者の  
仮駐車場確保計画(案)

※合計確保台数  
➡最大80台程度





# 基本計画案の見直しについて

## 1)集約する教育(保育)施設

- ・ 保育所、幼稚園、小学校、中学校、体育館、プール等
- ・ 職員関係者約100台 + 送迎・来賓の駐車場（数十台）を確保

## 2)敷地の範囲

- ・ 幼稚園南側の民地を含む範囲の面積：約 2 1, 9 2 5 m<sup>2</sup>
- ・ 学校東隣の村駐車場を含む範囲では：約 2 4, 6 6 0 m<sup>2</sup> (2,730m<sup>2</sup>増)

## 3)施設の面積・規模

- ・ 建築施設の延床面積 9, 8 0 0 m<sup>2</sup> (基本計画時点のもの)

## 4)建物形態や建築の前提とする条件

- ・ 構造は地震や津波等のリスクを考慮し、R C造を想定
- ・ 3 0 人学級を基本とし、共用教室等の方針は基本計画案のとおり
- ・ 各学年に一クラスの普通教室と必要な特別支援学級クラスを設置

# 基本計画案の見直しについて

## 5)災害への安全対策

- ・現在の地盤高さ以上に安全な校庭や建物フロア一高さを維持
- ・構内の屋上等への一時避難の円滑な避難路確保
- ・場外からの一時避難タワーとして屋外階段からの避難路の確保

## 6)児童生徒等の安全・防犯対策

- ・通学や送迎による車両との接触事故回避
- ・職員の管理監視方法、機械設備等の導入

## 7)工事中の安全性や教育環境への配慮

- ・工事車両と利用者との動線分離による安全確保など
- ・工事期間中の保育教育環境の確保（振動・騒音・粉塵等の低減）

## 8)施設集約化による危険性の低減

- ・特殊教室や体育館、プール、ほか特別教室等の共用による不便や危険性の低減

## 9)建設コストやメンテナンスの低減

- ・施設規模の縮減やコスト減となる計画づくり
- ・高耐久性や施設価値の存続、将来の空教室への他用途転換の事前準備が必要

## 基本計画案の基本条件について

### 【普通教室】

- ・普通教室は小学校6教室、中学校3教室を確保して、教室の大きさは、縦8.0m×横8.0mの64㎡とする。30人学級を基本とする。

### 【特別教室ほか】

■ 小学校：理科室、音楽室、保健室、特別支援教室（3室）など

→ 図画工作室は、中学校の「美術室・技術室」を共用

→ 家庭科室は、中学校の「被服室・調理室」を共用

■ 中学校：理科室、音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、特別活動室、教育相談室、進路資料・指導室、保健室、特別支援教室（4室）等

■ 共同利用施設

- ・ 体育館・図書館・プール（置き床式を想定）
- ・ ランチルーム

### 【階層・避難計画】

- ・ 小中校舎棟は3階建てまたは2階建て以下とする。
- ・ こども園舎は浸水災害時に備えて小中校舎屋上への避難経路を確保する。

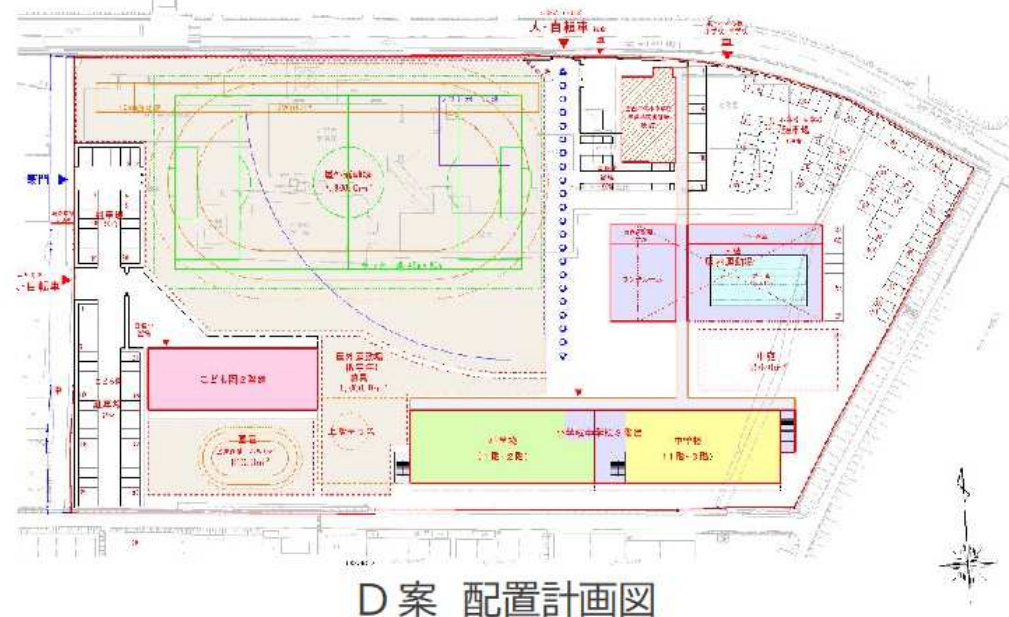
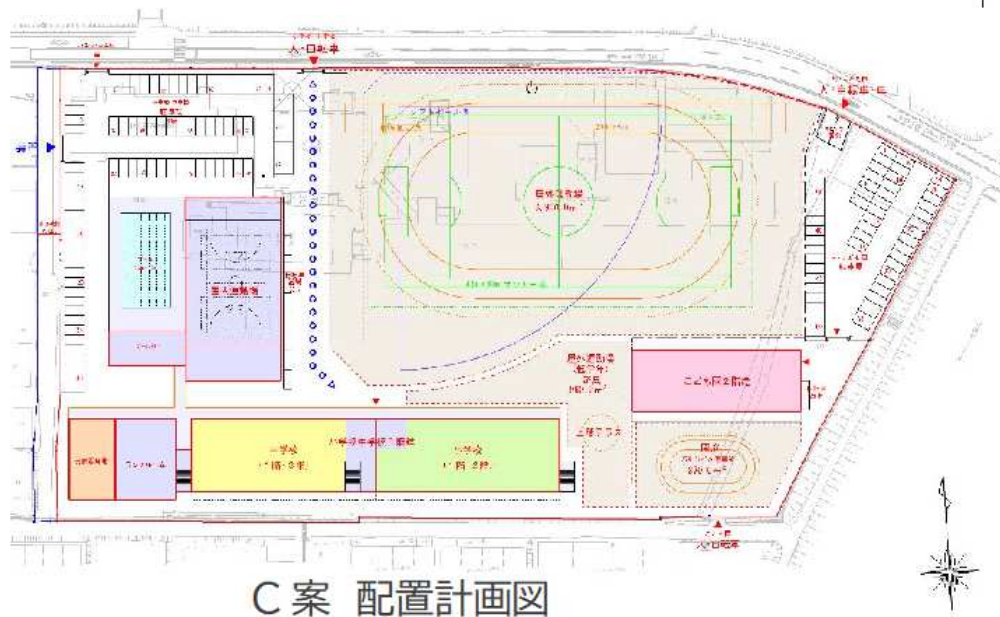
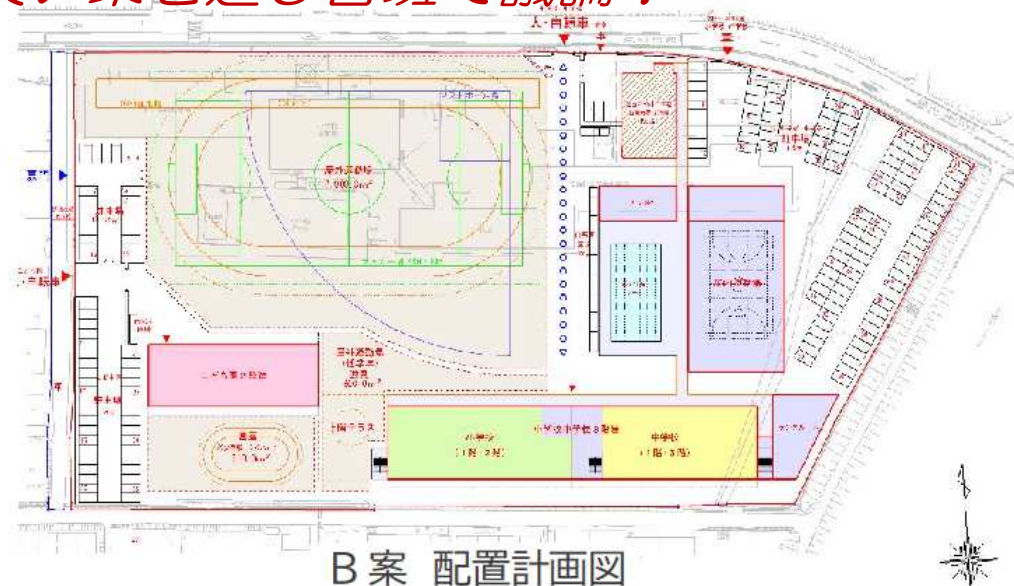
### 【動線交通計画】

- ・ 小中は北側の前面道路に校門を設け、歩行者・車両は分離する。
- ・ 西側の村道は拡幅し、こども園ほかの送迎車両等の通行の安全を確保する。



# 見直し配置計画の比較案

南側校舎配置案の4案から、良い案を選び各班で議論！





## 第2回

# 芸西村 教育施設集約化ワーキング部会

テーマ: 前回のWS意見を反映した新配置計画4案を知ろう！  
各班で最も良い案を選び、さらに各案の課題や解決策を探ろう！

### ■第2回目を開催しました

■日時: 2025年8月1日(金) 19:00-21:00

■場所: 芸西村生涯学習館 2階学習室

■参加人数: 18名



前回のワーキングでは、前年度の基本計画案に関する改善策等について意見をいただきました。

今回のワーキングは、前回意見をもとに、基本計画を再検討し、A～Dの4つの配置見直し計画から、班ごとに一案を選び、選んだ案について「良い点」「課題・問題点」「疑問点」「改良・改善アイデア」の意見を出し合いました。

次回のワーキングで、今回のワーキングと9月に実施する住民説明会結果を踏まえた最終案に対して意見交換を行います。

なお、前回のワーキング時に質疑のあった敷地選定の経緯や根拠については、冒頭で事務局から改めて説明がありました。

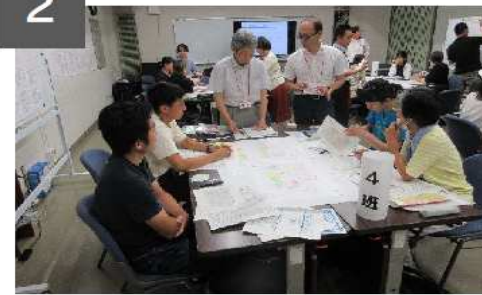
### ■グループワークの様子です

1



参加者は4班に分かれ、A～Dの4つの案に対し、一番いい案、次点でいい案をそれぞれ選び、投票を行いました。

2



班で一番得点の高かった案を大判の模造紙に張り、選んだ案の「良い点」「課題・問題点」「疑問点」を付箋に書き出しました。

3



班で出された「課題や疑問点」に対する「改良・改善アイデア」について、多面的に議論・意見交換をしました。

4



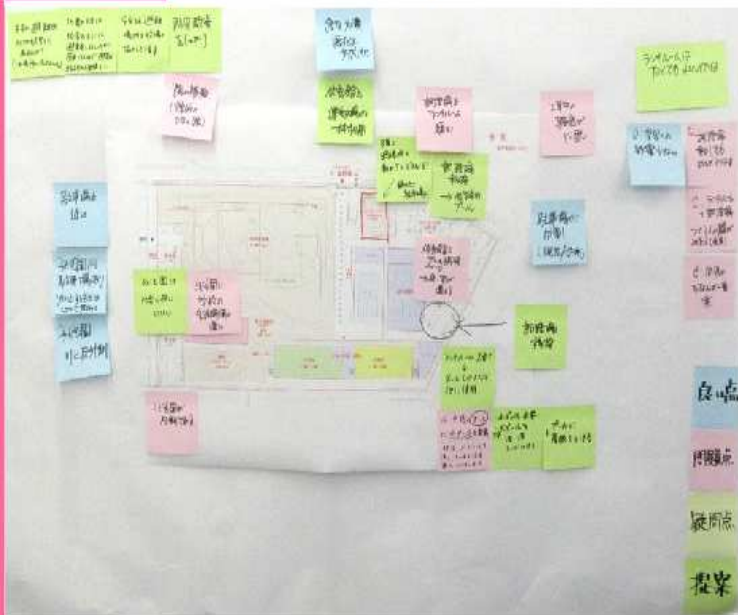
最後に、各班で選んだ案と、案に対する異見をとりまとめ、各班から全員に向けて発表して、ワーキングの成果を共有しました。



# グループワークで出た意見・アイデア

全4班から出た意見を一部ご紹介します。今回の意見を踏まえ、最終案を作成し、次回ワークショップで課題や改良点を議論します。

## 1 班 B 案(+C 案)



### 良い点

○こども園の配置が良い(専用駐車場が近い、川から遠く安全)。

### 課題・問題点

○調理場とランチルームが遠い。  
○こども園と学校の分断・生活時間の違いに懸念。

### 改良・改善アイデア

○避難経路・避難場所の確保、防災教育の充実。  
○体育館と運動場を隣接させ一体利用。  
○調理場を移設し、跡地を低学年用プールとして利用。

○ランチルームを無くして小プールなどに使用。  
○小学生用・中学生用としてプールの深さをコース別に分ける。  
○こども園は防音壁にする。

## 2 班 B 案



### 良い点

○工期が短く、工事費が安い。  
○駐車場から体育館へのアクセスが良く、地域の人も利用しやすい。  
○外部からこども園のアクセスが良い。

### 課題・問題点

○こども園入口は人目が少ない場所のため防犯面で懸念がある。  
○共同調理場や校門から校舎が遠い。  
○今の教室が狭い。

### 疑問点

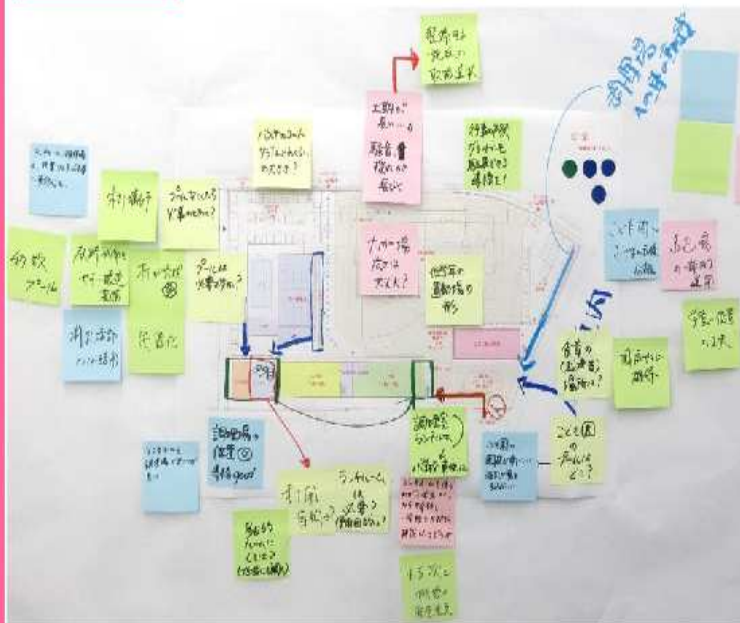
○プールや運動場の様子が駐車場や道路から見えないか。  
○ランチルームは必要か?  
○周辺ハウスや避難経路などへの影響は?

### 改良・改善アイデア

○グラウンドの目隠し設置やプールへの屋根の設置・体育館との配置を入替。  
○教室拡張や給食運搬方法の改善、着替えスペースの確保。



## 3 班 C 案



### 良い点

- 調理場の位置を変更し、調理場とランチルームが近く、動線が良い。
- こども園と学校の動線が分離されていてよい。

### 疑問点

- ランチルームやプールの必要性。
- 食育やこども園のプールの設置場所。
- サッカー・バスケ等のコートの規模はどの程度か、配置は適切か。

### 課題・問題点

- ランチルームや調理場の将来的な負担、工期の長さ、工事中の騒音が懸念。
- こども園と学童の送迎場の一体利用ができない。

### 改良・改善アイデア

- ランチルームを多目的ルーム化し、地域にも開放する。
- 調理室等を小学校の東側に配置。
- プールは村で管理、民営化の検討、外部講師の雇用を検討する。

## 4 班 A 案と B 案



### 良い点

- OA: プールの日当たりが良い。
- OA: 工期が短い。
- OB: 運動場の日当たりやこども園駐車場の独立性が良い。
- OB: こども園から小中学生の様子が見える。

### 課題・問題点

- OA: 運動場の日当たりが悪そう。
- OA: こども園と自転車置き場が近いと危険。

### 疑問点

- OA: 工事中(運動場閉鎖中)でも体育授業が十分にできるか。

### 改良・改善アイデア

- OA: 先生や子どもの意見を積極的に聴取してほしい。
- OA: 駐車場の分割、入口の検討で安全確保。屋根をつけて雨天時に対応。
- OA: ランチルーム削減でスペース確保。
- OB: プールを東へ配置し日当たりを改善してほしい。

などなど…この他にも多数のご意見をいただきました！



第7回委員会+第3回ワーキング部会 10/29

B-02 案		B-01 案		B-03 案		B-04 案	
<p>・前面道路の中央東よりに小中正門を、西側村道からこども園専用の出入口を設けて分離</p> <p>・西側からこども園⇒小中学校舎→<b>体育館</b>→プールの並び</p>		<p>・前面道路の中央東よりに小中正門を、西側村道からこども園専用の出入口を設けて分離</p> <p>・西側からこども園⇒小中学校舎→<b>体育館</b>→プールの並び</p>		<p>・前面道路の中央東よりに小中正門を、西側村道からこども園専用の出入口を設けて分離</p> <p>・西側からこども園⇒小中学校舎→<b>プール</b>→<b>体育館</b>の並び</p>		<p>・前面道路の中央東よりに小中正門を、西側村道からこども園専用の出入口を設けて分離</p> <p>・西側からこども園⇒小中学校舎→<b>プール</b>→<b>体育館</b>の並び</p>	



良一点

課題、問題占

## 疑問点 改善策

給食運搬  
の人件費  
はどうなる？

人影が見える  
程序の回かし  
カ所

自転車置き場  
は、小中で  
お供してあげよう

● 結果は  
重なる

調理場→夜  
距離

小学生  
种萝卜  
大受

備蓄  
校舎  
北園  
（前）

館と  
つなぐ  
てきめ

運動喝炭水

体育館と校舎の  
距離が広い  
17/12 = 1.4 - 1.5

(2) Form 11  
Page 11  
(2)

渡りつ下を  
保管館まで  
作る事は可能か

二、八、九

駐車場から●  
(2F)  
アールが見えるのに  
食にやる

70-1115  
屋根ついで  
ほい

フルの  
トイレや着替は  
南側にすると  
乾燥が良い◎

小P-1112  
高=730分  
(全形?)

中庭に  
サニール  
丸屋根

字重子以过  
而一清之  
比之

図書館や  
への移動に  
くもはさ  
必要が  
雨の時に  
さる

20-10  
021  
2010  
2010

学童位

置は  
二枚?

屋根王って  
千代力です  
ように

学童日  
校舍と  
力と工良

$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$   
 位置  
 王入木也  
 (字重如值)

この図例に

## 基本計画案の見直し（4案）について

### 1) 基本的な施設配置方針はB案ベースとする。

- ◇前回ワークショップ（WS）の大方の意見を踏襲する
- ◇川から離れた場所にこども園を配置する
- ◇盛土造成宅地と小学校グラウンドとに新校舎をまたがない  
→前回A案（C案）では小中校舎が両方の地盤にかかるので

### 2) B案ベースとし、体育館とプールの配置を比較検討する

- ◇WSでの意見が多かったグラウンド側に体育館配置を検討する
- ◇体育館は周囲への圧迫感が生じるため、川側へ配置した案も比較検討する

### 3) 共同調理場は継続使用とする

- ◇建設して10年程度であり、解体して新築するコストや工期が現実的でない
- ◇今後（数十年後）に建替えとなる配置は想定する。  
→東側の駐車場に建設して、入れ替えを予定



## 基本計画案の見直し（新4案）について

### 4) 調理場と校舎結ぶ「渡り廊下」の配置を比較検討する

- ◇施設（体育館又はプール）の正面（グラウンド）側か、奥側かの比較検討
- 日常利用の動線、季節限定や時間限定の動線の頻度やクロス動線にも配慮

### 5) ランチルームは設置しない

- ◇WSでの意見が多かったため、今回はランチルームはどの案にも配置しない
- ランチルームよりも、地域住民も利用できる地域サロン等の部屋を確保

### 6) 低学年用のプールを設置し、遮光ネットや視線防止ネット等を設ける

- ◇これもWS意見から複数希望があったため、小プールを設置する
- 通常の25m 6レーンプールのうち、1～2レーンは常時浅い水深とする
- ◇日射病対策の簡易屋根、学校周囲からの覗き見防止のネット等を設置
- ◇こども園にはFRP簡易プールを設置予定

# 基本計画案の見直し新配置案について

以上の対応方針により、基本計画案を見直す。次の4案を検討した。

➡体育館とプールの配置2案比較×渡り廊下の配置2案＝4案

B-O1 案：グラウンド側に体育館を、プールは東端に配置

◇体育館は東西方向に長手とし、正面入り口は西側短手側に

◇調理場からの渡り廊下は奥側（体育館とプールの間）に

B-O2 案：グラウンド側に体育館を、プールは東端に配置

◇体育館は南北方向に長手とし、正面入り口は西側長手側に

◇調理場からの渡り廊下は体育館の正面側に

B-O3案：グラウンド側にプールを、体育館は東端に配置

◇プールは南北方向に長手配置とし、体育館出入口は中庭側に

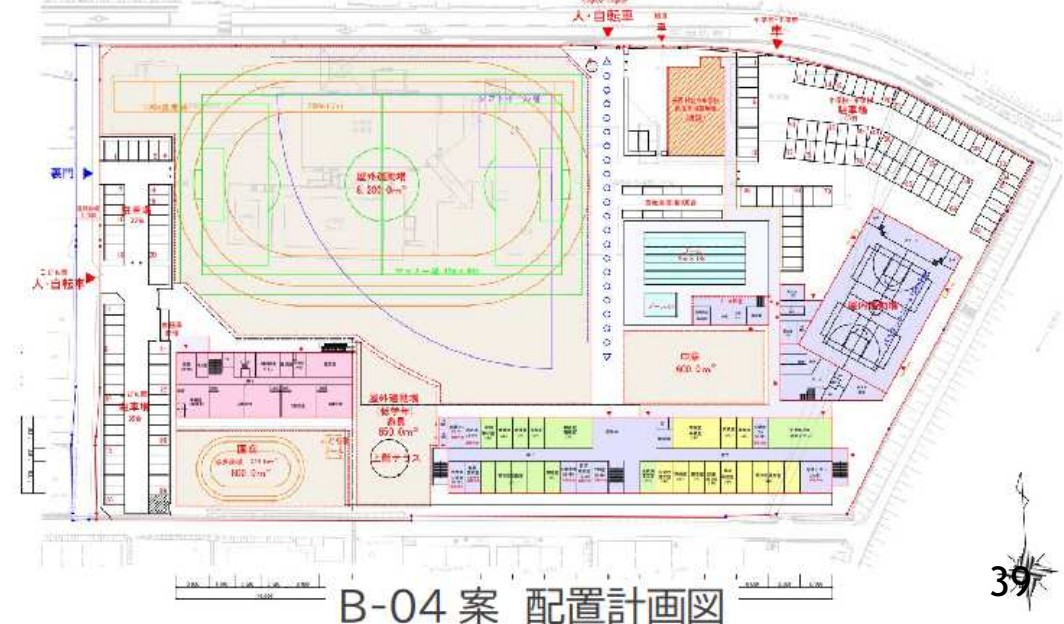
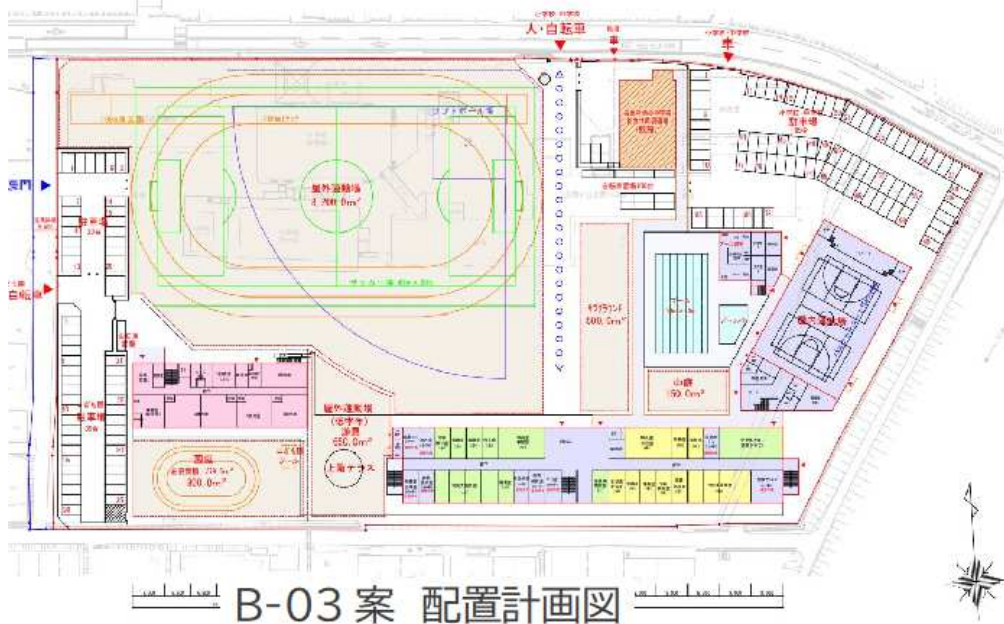
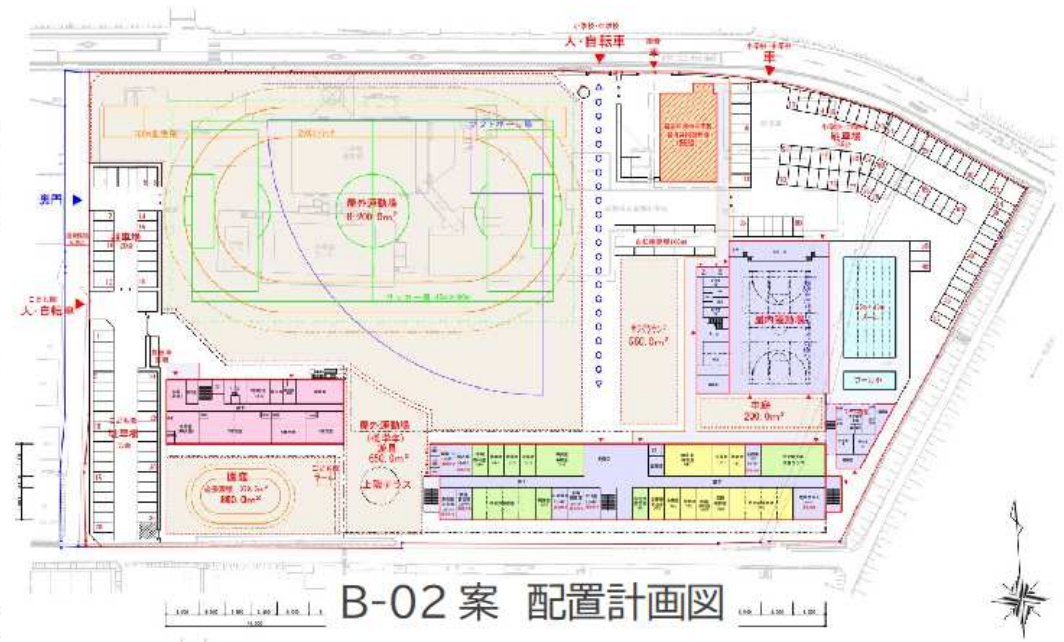
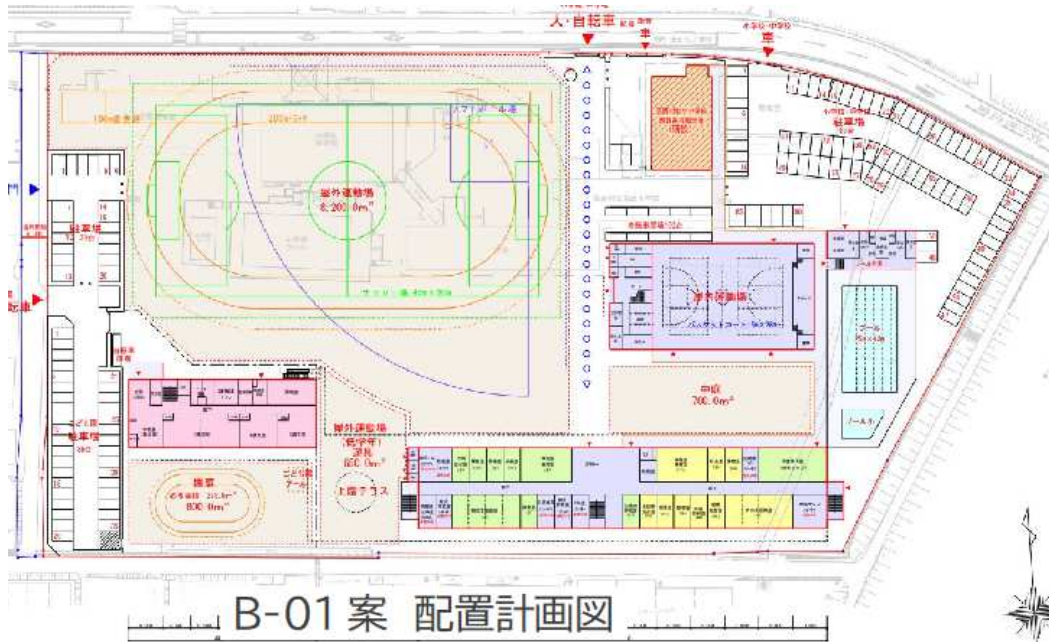
◇調理場からの渡り廊下はプールの正面側に

B-O4案：グラウンド側にプールを、体育館は東端に配置

◇プールは東西方向に長手とし、体育館出入口は中庭側に


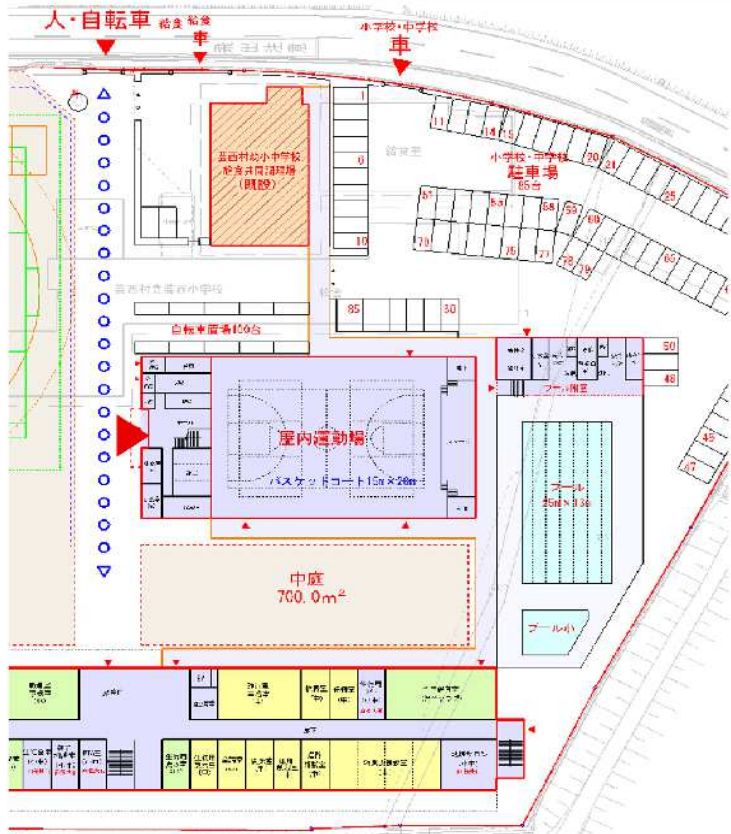
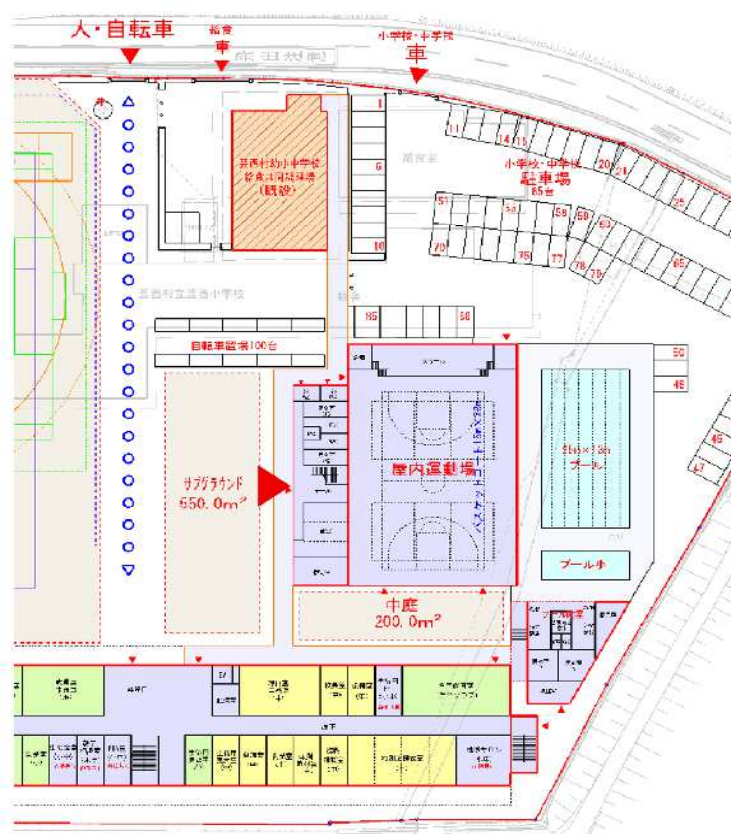
◇調理場からの渡り廊下は奥側（体育館とプールの間）に

# 見直し新4案～体育館とプールの位置、渡り廊下比較





# ■見直し新4案比較表 1/2

	B-01 案	B-02 案
<p>配置図（縮小版）</p>  <p>色分け凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：こども園</li> <li>：小学校</li> <li>：中学校</li> <li>：供用施設</li> </ul>		
【建物の配置の方針】	・体育館がグラウンド側、プールが川側 ・こども園は河川から離して西側に配置 ・共同調理場は存続させる	
【景観特性や外部視線対策】	・体育館が校舎に圧迫感を与える ・プールへの土手道からの視線対策が必要	・体育館が校舎にやや圧迫感を与える ・プールへの土手道からの視線対策が必要
【共同調理場との渡り廊下計画】	・正面（体育館前）側に配置 ・調理場から校舎EVまでの移動距離：120m	・正面（体育館前）側に配置 ・調理場から校舎EVまでの移動距離：80m
【悪天候時の横雨風の影響】	・体育館とプールに挟まれた区間は影響が少ない	・グラウンド側のため吹きさらしとなる
【プールの附室の配置計画】	・校舎東端に隣接する	・プールの奥側で駐車側に配置
【車動線～駐車場の位置・台数】	・小中用 85 台、こども園と予備用 55 台、総数 140 台 駐輪場 100 台	



	B-03 案	B-04 案
<p>配置図（縮小版）</p> <p>色分け凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：こども園</li> <li>：小学校</li> <li>：中学校</li> <li>：供用施設</li> </ul>		
【建物の配置の方針】	・プールがグラウンド側、体育館が川側 ・こども園は河川から離して西側に配置 ・共同調理場は存続させる	
【景観特性や外部視線対策】	・体育館が川側のため、校舎への圧迫感が小さい	
【共同調理場との渡り廊下計画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏側（プール裏手）側に配置</li> <li>・調理場から校舎EVまでの移動距離：80m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏側（プール裏手）側に配置</li> <li>・調理場から校舎EVまでの移動距離：100m</li> </ul>
【悪天候時の横雨風の影響】	・グラウンド側のため吹きさらしとなる	
【プールの附室の配置計画】	・プールの奥側で駐車側に配置	
【車動線～駐車場の位置・台数】	・小中用 85 台、こども園と予備用 55 台、総数 140 台	・駐輪場 100 台



## 第3回

# 芸西村 教育施設集約化ワーキング部会

テーマ: 第2回住民説明会結果を踏まえた最終案を知ろう！  
最終案(設計条件)の課題や改良点を共有しよう！

## ■第3回目を開催しました

- 日時: 2025年10月29日(水) 19:00-21:00
- 場所: 芸西村生涯学習館 2階学習室
- 参加人数: 16名



前回ワーキングでは、基本計画を再検討し、A～Dの4つの配置見直し計画から、班ごとに一案を選び、選んだ案について意見をいただきました。

今回のワーキングは、前回多く意見が出たB案をベースに、再度検討した4つの配置案から、良いと思う案を選び、選んだ案ごとに班を分け、選んだ案の「良い点」「課題・問題点」「疑問点」「改良・改善アイデア」について意見交換を行いました。

ワーキングは今回が最終回となります。これまで出ていただいた意見をもとに最終案を作成し、12月中旬にワーキングメンバーへ最終報告を行います。12月21日(日)に住民説明会を行う予定です。

## ■グループワークの様子です

1



参加者はB-01～B-04の4つの案に対し投票を行いました。特に良い案として選ばれたB-01、B-02の2案で班分けを行いました。

2



選んだ案を大判の模造紙に張り、配置案の「良い点」「課題・問題点」「疑問点」を付箋に書き出しました。

3



班で出された「課題や疑問点」に対する「改良・改善アイデア」について、多面的に議論・意見交換をしました。

4



最後に、各班で選んだ案と、案に対する意見を取りまとめ、各班から全員に向けて発表して、ワーキング42の成果を共有しました。



# グループワークで出た意見・アイデア

各班から出た意見を一部ご紹介します。今回の意見を踏まえ、最終案を作成し、次回住民説明会で最終報告を行います。

## 1+2 班 B-01 案



### 良い点

- 中庭が広く、学童の子供たちの遊び場が広くとれる
- 運動場が広い

### 課題・問題点

- 共同調理場から校舎までの移動距離が長い(小学生だと移動が大変)
- 体育館やプールの移動に上履きから靴へ履き替えが面倒。
- プールの更衣室が校舎から遠い。
- 渡り廊下が半屋外のため、雨の日も面倒
- 駐車場(土手)からプールが見える。
- 自転車置き場が小中共同だと、小学生が不安な可能性がある。
- 学童の位置が、中学校側にあり、利用者である小学校側から遠い。

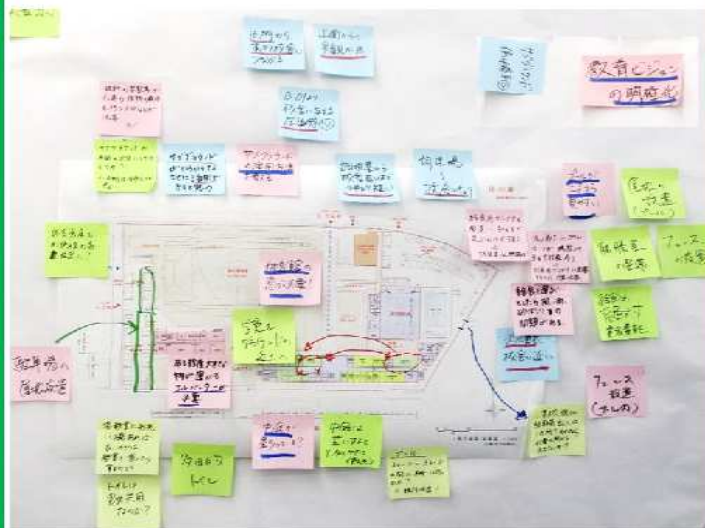
### 疑問点

- 給食の運搬について、自動運転化と業者による運搬だと長い目で見てどちらが費用を抑えられるか。
- 校舎と体育館をつなげられないか。
- 学童は校舎と別の建屋でなくてよい。
- 小学生の食育(野菜を育てる)のためのスペースは確保できているか。

### 改良・改善アイデア

- 自転車置き場は小・中で離してあげる
- 中庭には雨の日でも遊べるような屋根が欲しい
- 屋内運動場・校舎間に渡り廊下の設置
- 土手側に災害時避難状況等確認できるよう、人影が見える程度の目隠しを設置
- プールの更衣室は校舎側に持ってくる。

## 3 班 B-02 案



### 良い点

- サブグラウンドの使い勝手がよく、多様な使い方が期待される。
- 正面から校舎への見通しが良く、景観もよい。体育館の圧迫感も少ない。
- 共同調理場から校舎 EV 前までの距離が B-01 案と比較して短い。
- プールの更衣室が校舎に近い。

### 課題・問題点

- 教育ビジョンを明確にし、ビジョンに応じた施設整備が必要。
- 日当たりの関係で中庭が影ってしまう可能性がある。
- 給食コンテナの運搬は教員・生徒では難しい。また、渡り廊下が半屋外で、運搬の際、雨や風、土ぼこり等への対策が必要。
- プールが土手から見える。

### 疑問点

- 各教室に手洗い場があればいいのでは。
- トイレは男女共用か。

### 改良・改善アイデア

- サブグラウンドの半面を理科の学習で必要な畑として利用。
- 中庭を芝にし、メンタルケアへ活用。
- 体育館倉庫を利便性が高い所へ配置。
- 多目的トイレの設置。
- プール内のレーン間に柵の設置。
- 給食の配膳は、校舎 1 階に配膳室を整備し、運搬は業務委託。
- 学童の教室をグラウンド近くに配置。
- プールに屋根やフェンスを設置。
- こども園側の駐車場の一部に屋根を設置。
- 混雑時に開放する駐車場出入口を設置。



## 4 班 B-02 案



### 良い点

○更衣室、機械室が校舎から近い

### 課題・問題点

○運動場は工事中に使用できない可能性がある。

○低学年にはすぐに運動場などの外で遊べるように 1F で過ごさせたい。

○児童クラブは校舎内でなく、校舎外でないと、休日に困る。

### 改良・改善アイデア

○校舎の南側へ野菜や花を育てるため、水やりなどのお世話を休み時間にできるように、教室の南側からも外に出られるようにしてほしい。

○給食の衛生面・安全面から、渡り廊下は屋根だけでなく壁も必要

○体育館は外部用出入口と、児童生徒用の出入口を別にする。(子どもは上ばきのまま体育館に入る)

○学校側の管理上、外部の人が使う場合は校舎外にあるのが望ましい。

などなど…この他にも多数のご意見をいただきました！

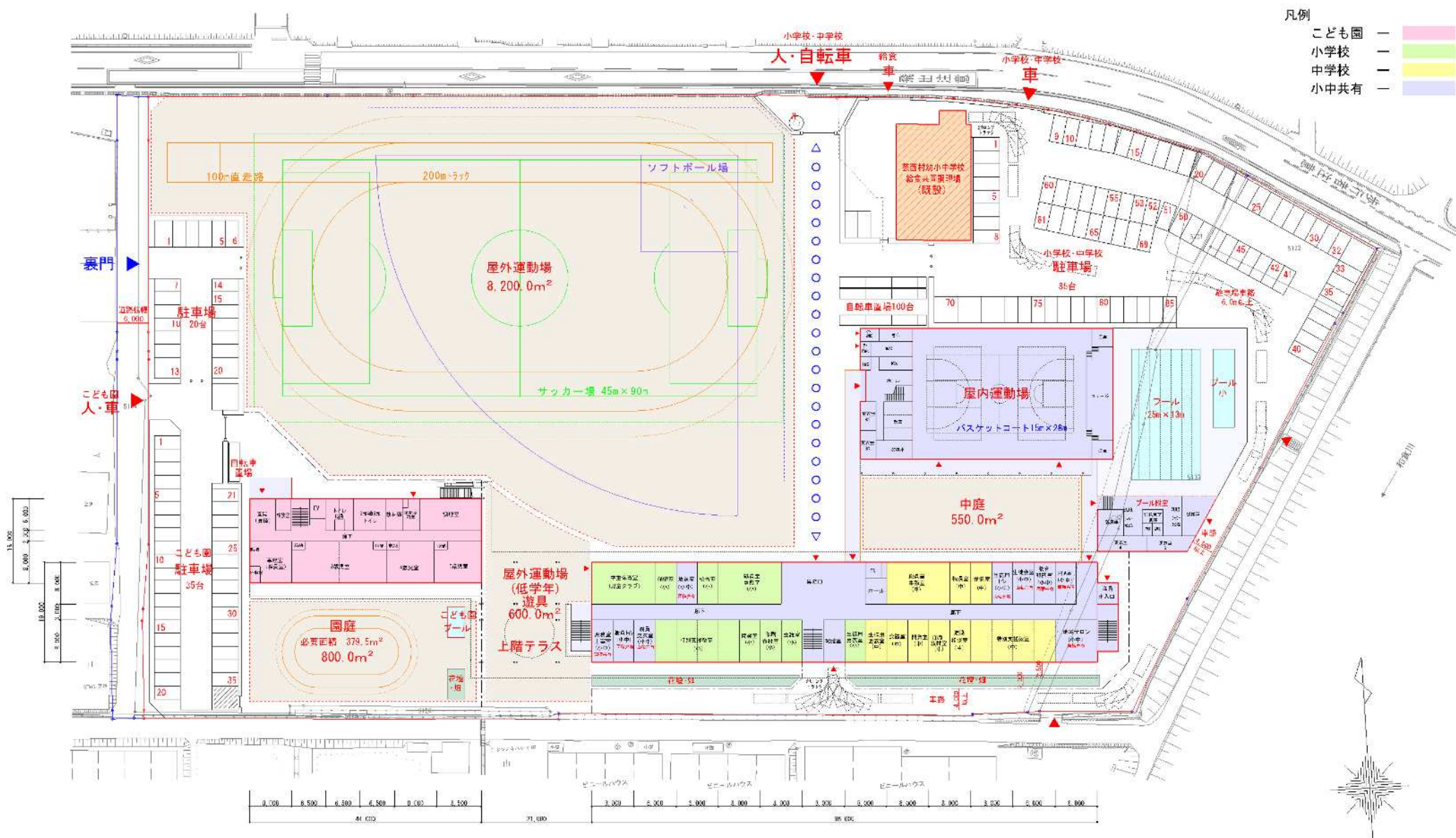


### 3. 基本計画配置案の見直し結果（最終案）

- 委員会とワーキングの意見を踏まえて、庁内での検討を重ねました。
- 1. 体育館は校庭側とし、校舎と渡り廊下を設けて行き来しやすくする
  - • プールは東側となり、目隠し・日除けを設置
- 2. プール附室は、校舎側とし、児童クラブは校舎西側へ配置する。 •
  - 校舎東端に職員出入口、地域サロンを設置をする。
- 3. 給食運搬方法は、校舎中央（EV）まで構内を業者車両搬送とする。
  - • 懸案の衛生管理や運搬距離をクリアする
- 4. 校舎と南側境界との離れを確保し、南側に花壇等を設置
  - • 将来の南隣民地との離隔距離を確保
- 1. こども園園庭にもプール、花壇スペースを設置する。

# ■基本計画配置案（最終案） 1/2

(駐車場合計 140台)



1 階平面図・配置図

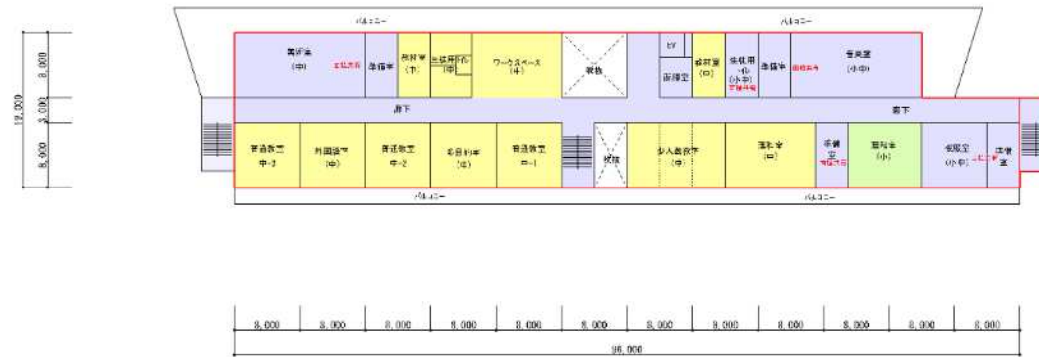
※部屋割りや部屋配置は暫定です



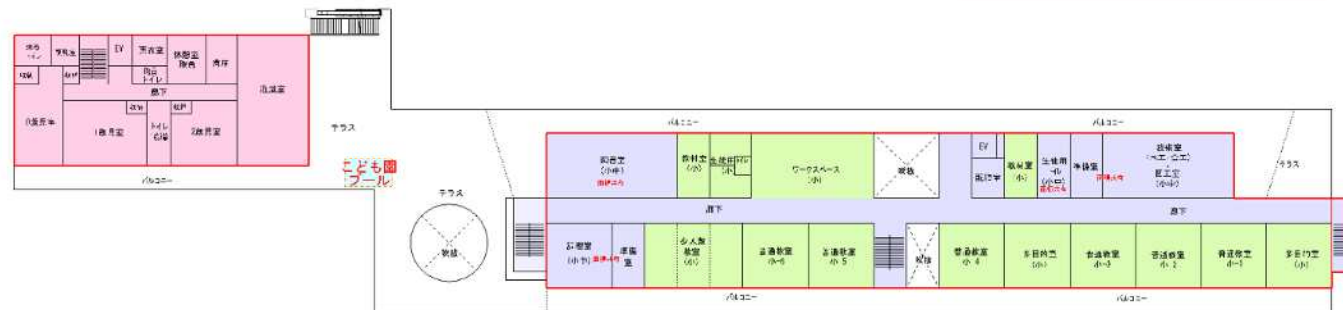
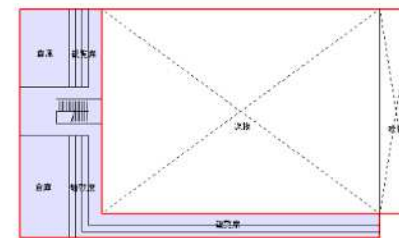
# ■基本計画配置案（最終案） 2/2

凡例

- こども園 —
- 小学校 —
- 中学校 —
- 小中共有 —



3階平面図



※部屋割りや部屋配置は暫定です



2階平面図



# 工事工程計画 工事期間







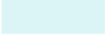

	1	2	3	4	5
STEP 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>西側道路拡幅</li> <li>敷地造成整備工事車両西側道路から</li> <li>水路切り回し</li> </ul>				
STEP 2	土木工事（宅地造成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校校舎、新体育館、プール建設</li> <li>小学校校舎完成後、小学校引越し</li> <li>こども園建設工事、園庭整備</li> <li>こども園建設後、幼稚園保育所引越し</li> </ul>			
STEP 3			<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校、体育館、プール解体</li> <li>幼稚園解体</li> </ul>		
STEP 4			<ul style="list-style-type: none"> <li>こども園小中学校駐車場整備</li> <li>小中学校グラウンド整備</li> <li>中学校引越し</li> <li>完成（竣工）</li> </ul>		

※注意）最短工期を示すもの

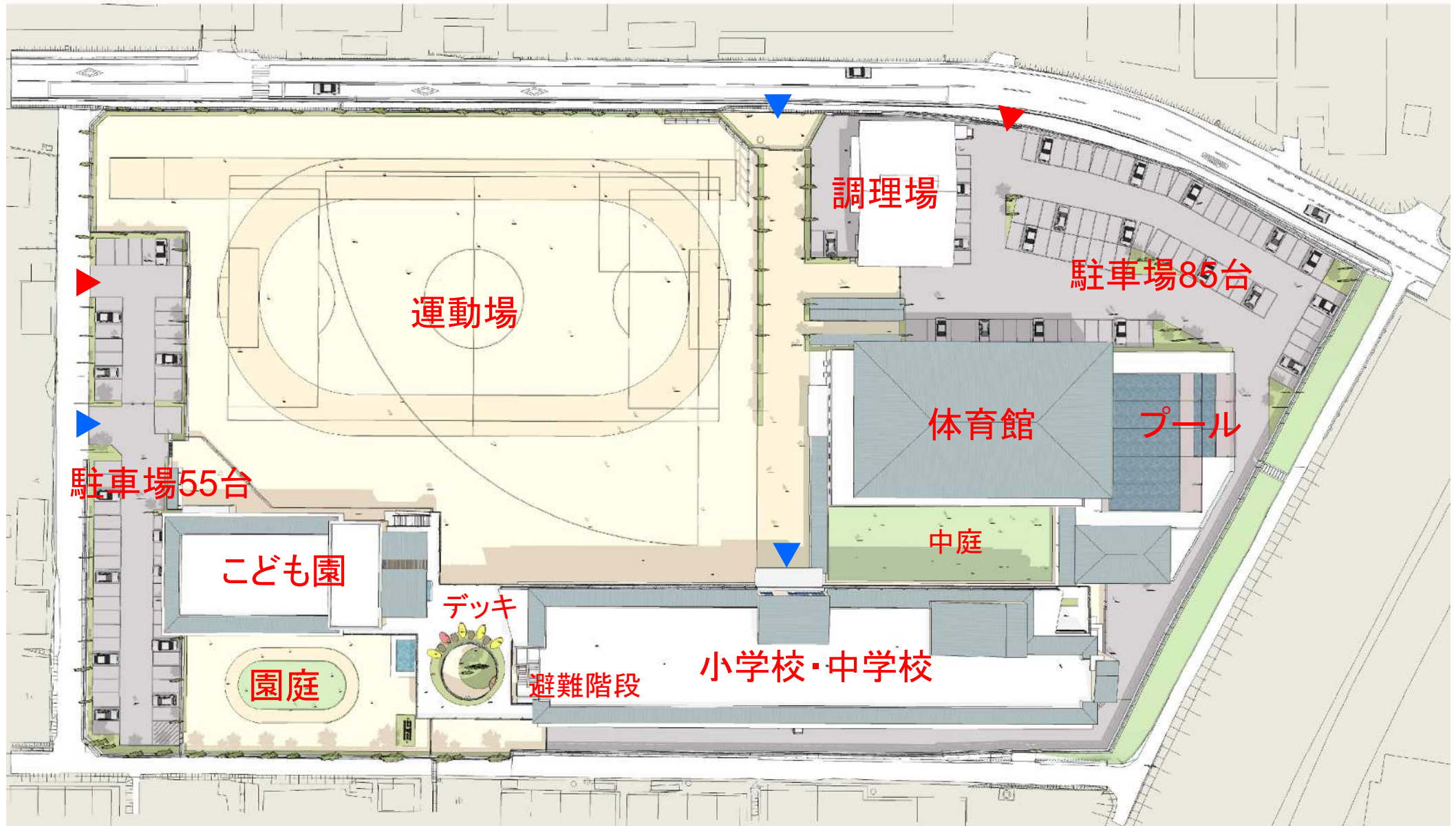


# 建築施設の面積表

【延床面積約9,900m<sup>2</sup>】

		1階	2階	3階	PH階	合計
名 称		面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )
	校舎 (小・中学校)	1,876.0	1,664.0	1,664.0	32.0	5,236.0
	校舎ピロティ屋外階段	378.0	32.0	32.0		442.0
	園舎 (こども園)	704.0	576.0			1,280.0
	園舎ピロティ屋外階段	27.0	27.0			54.0
	屋内運動場	1,194.0	382.0			1,576.0
	プール附室	210.0				210.0
	プール (屋外)	808.0				808.0
	渡り廊下	300.0				300.0
合計		5,497.0	2,681.0	1,696.0	32.0	9,906.0

# 完成予想CGパース図 全景真上から





# 完成予想CGパース図 全景1





# 完成予想CGパース図 全景3





# 完成予想CGパース図 全景4

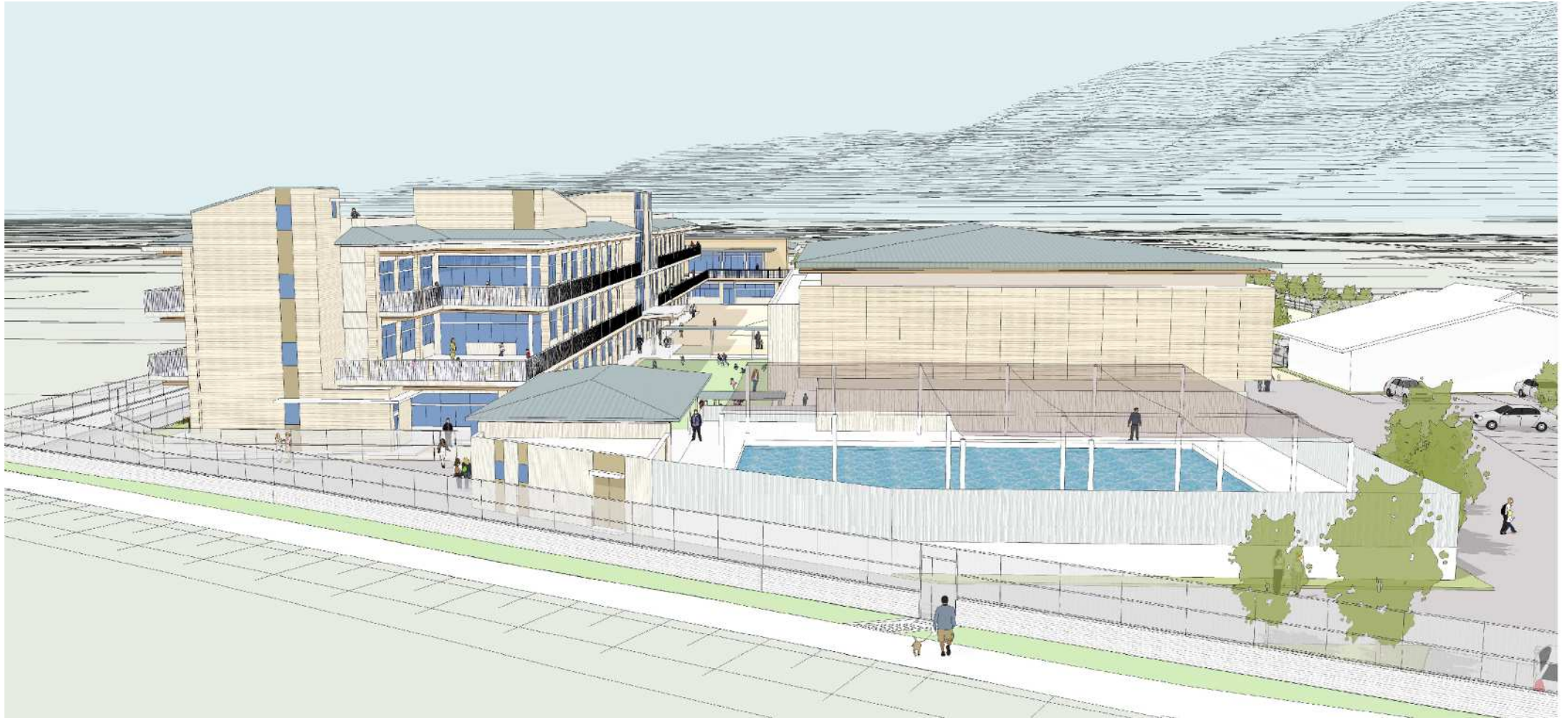


# 完成予想CGパース図 南側側面





# 完成予想CGパース図 東側側面

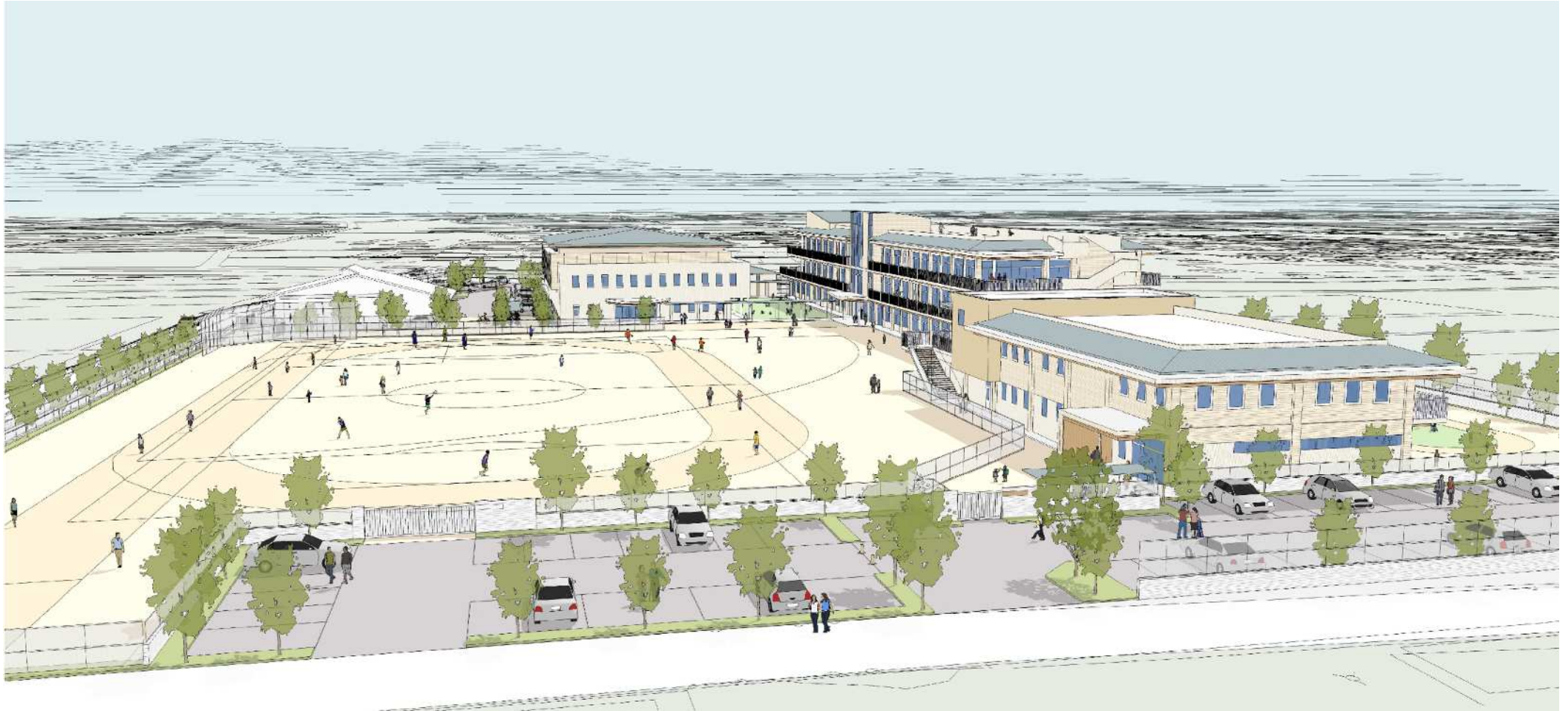


# 完成予想CGパース図 北側側面





# 完成予想CGパース図 西側側面





# 完成予想CGパース図 南西側面





# 完成予想CGパース図 こども園舎と園庭





# 完成予想CGパース図 園舎と校舎間のデッキ





# 完成予想CGパース図 デッキと下部のプロテクト





# 完成予想CGパース図 中庭俯瞰





# 完成予想CGパース図 体育館と中庭と校舎

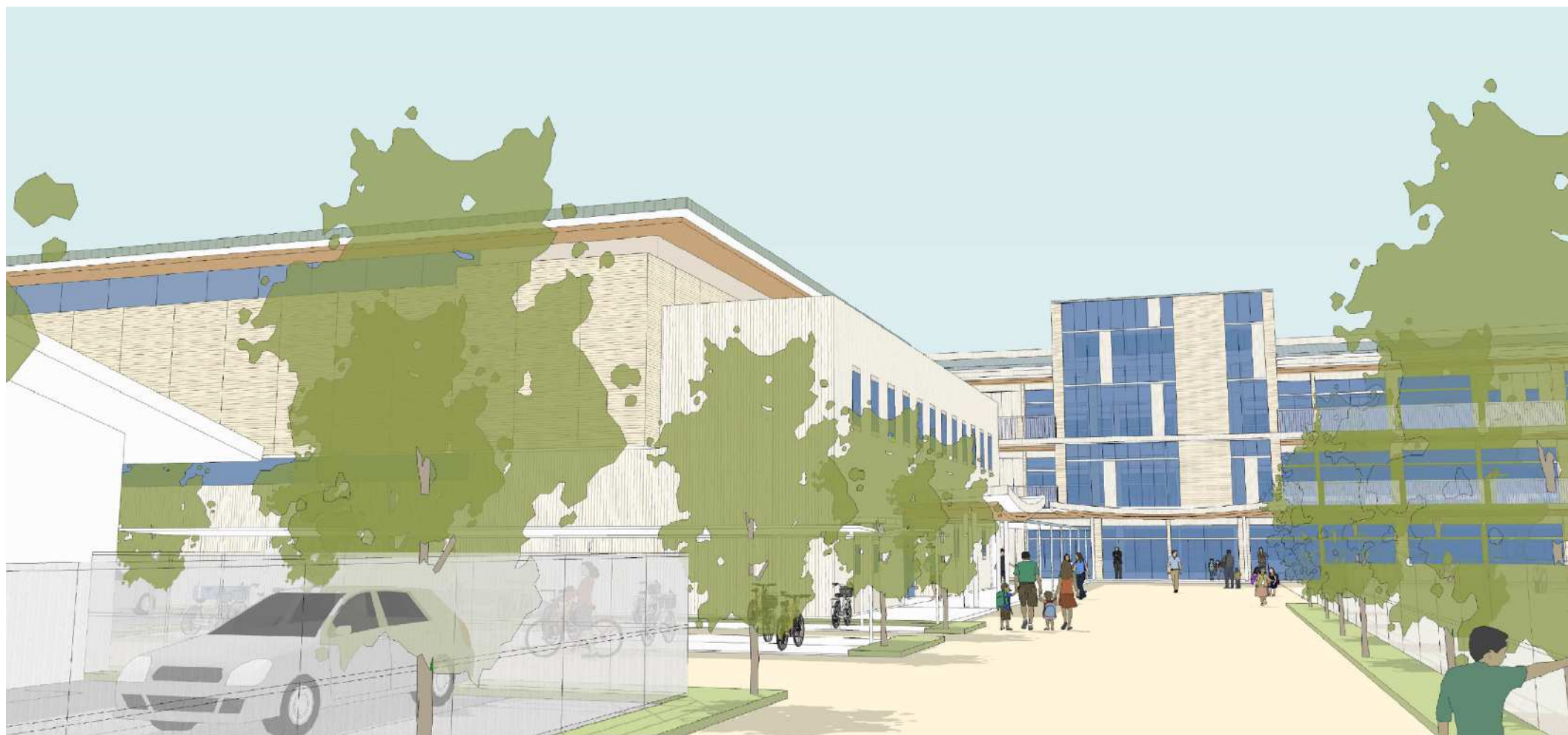


# 完成予想CGパース図 園舎玄関口付近





# 完成予想CGパース図 校門から昇降口



# 完成予想CGパース図 校舎と体育館の間の中庭





## ■12/11成果報告会の質疑応答（議会・第8回委員会・WS参加者）

- 校舎屋上階への室内空間や備蓄倉庫を設置してはどうか →検討する
- 今後の共同調理場の建替え場所はどこか。 →東隣を予定
- 給食運搬ルートは校舎東側までとし、また安全確保可能なら、中央校門から昇降口の校内通学路の兼用ができないか。 →両案を今後検討する
- 校舎南側の中央配膳室と、ここへ至る車道は南側校庭を狭め、危険性が高いので上記のルートとして取り止めできないか。 →最終案に反映する。
- 校舎中央のE Vは、屋上避難への防災資材や大型楽器、家具備品搬送のため、十分な広さを確保した設備としてほしい。 →設計条件に反映する
- 近年の建設工期は標準工期を上回るケースが多く留意を →承知した
- 工事期間中の運動場の確保はどうするのか →憩ヶ丘運動公園を利用予定
- その場合のバス運送などの対応をキチンとしてほしい →承知した
- 工事期間中のこども園の昼寝時間への配慮を十分してほしい →承知した
- 周辺住民が災害時に利用する屋外特別避難階段について
  - →校舎西側を災害時に開放する
  - →東側屋内階段も兼用可能だが、学校の普段使いにやや影響あり

## 4. 今後の予定、その他

◇第3回集約化施設事業説明会を終えますと、年明けから年度末に向けて、次年度発注予定の「基本設計業務」ための設計条件整理、設計仕様書などを作成します。

以上、よろしくお願いいたします。

